

Luxman

SUPER AUDIO CD PLAYER

D-07X

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのスーパーオーディオ CD プレーヤー D-07X をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、90 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
本機の特徴	3
本機で再生できるディスクについて	7
お使いの前に	9
各部の名称と用途	11
接続方法	19
ディスクの再生	23
ディスクの一時停止 / 停止	25
スキップ / 早送り / 早戻し	27
ダイレクト・サーチ / リピート再生	29
プログラム再生	31
ランダム再生 / ディスク情報 / ズーム	33
詳細設定	35
ブロックダイアグラム	41
規格	42
修理に出される前に	43
アフターサービスと品質保証について	45

使用上の注意

再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらにオペレーションスイッチを押し、表示窓の「-STANDBY-」表示が消えてから電源ケーブルを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- ・ 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ・ テレビやカラーモニターの近くに本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- ・ 水平な場所に設置してください。

次のような場所は避けてください

- ・ 直射日光のあたる所
- ・ 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ・ 極端に暑い所や寒い所
- ・ 振動のある所
- ・ ホコリの多い所
- ・ 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ラックのガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズ(▲) ボタンを押してディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられ、故障の原因になります。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

ディスクの取り扱い方

- ・ 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ・ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ・ ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ・ ディスクを2枚重ねて再生しないでください。
- ・ ディスク表面に印刷できないいわゆるプリンタブルCD-Rには、クランパー（再生時のディスク押さえ）に貼り付きやすいディスクがあります。このようなディスクを使用すると、ディスクが本体から取り出せなくなったり、故障の原因になったりする場合がありますので使用しないでください。

ディスクの保管

- ・必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ・ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ・ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください（円周に沿って拭かないでください）。
- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などご使用できません。
- ・汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は『アフターサービスと品質保証について』をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

光デジタルケーブル取り扱い上のご注意

- ・急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が 15cm 以上になるようにしてください。
- ・接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- ・長さは 3m 以下のものを使用してください。
- ・プラグにほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

製品のお手入れについて

- ・本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはがれることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- ・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意



本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。

ステレオ音のエチケッ



- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。

本機の特徴 — 2チャンネル専用 Super Audio CD/CDプレーヤー

LxDTM improved — Luxman original

Disc Transport Mechanism —

トランスポートと一体化する形で強固に組み付けられるサイドフレームは、フロントからリアエンドまで達しシャーシを兼務する高剛性構造、SSB (Stabilized Support Block) を採用。

アルミダイキャスト・トレイにより振動と共振を抑制。

QLL (Quiet Linear Loader) により、静かで滑らかなトレイ開閉を実現。

アナログ回路

左右それぞれに独立したモノラル動作の D/A コンバーターの差動出力をフルバランス構成の高音質ディスクリートバッファ回路により低インピーダンス化。

次段に接続されるプリメインアンプやコントロールアンプを強力にドライブ。

ローム社製 BD34301EKV 搭載

DAC チップにはローム社製 BD34301 EKV を左右独立のモノラル構成で採用。

USB 入力 768kHz/32bit 対応

USB 入力端子 (B タイプ) を装備し、PC/Mac などからの USB デジタル・オーディオ信号の入力が可能。

最大 768kHz のサンプリング周波数、32bit の量子化ビット数に対応。

USB 入力 DSD 対応

PC/Mac などから DSD フォーマット・データの入力が可能。

2.8MHz/5.6MHz/11.2MHz/22.4MHz のサンプリング周波数に対応。

アシンクロナス通信対応

USB 入力はアシンクロナス通信と PLL により、USB 専用 DSP で低ジッター化。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、オリジナルのマスター録音のサウンドを実現した受賞歴のある英国の技術です。

完全認証されたマスター MQA ファイルは、ファイルサイズが小さく、ストリーミングやダウンロードに適しています。

詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。

本機は MQA テクノロジーが搭載されており、すべてのデジタル入力からの MQA オーディオファイルとストリームを、元のマスター録音の品質で再生できます。また、MQA-CD の再生にも対応しています。内蔵 MQA デコーダーの認証署名を使って信号を解読し、スタジオで聞かれる高解像度信号を自動的に復元します。

超低位相雑音水晶発振器

発振周波数近傍のノイズを著しく低めた発振器を採用。
ジッターの少ないクロックを供給。

レイヤー切り替え機能

本体もしくはリモコンの1ボタンで Hybrid Super Audio
CD のレイヤー切り替えが可能。

ズーム機能

リモコンの ZOOM ボタンを押すとトラックナンバーや
時間情報などを拡大して表示。

4 種類の再生モード

ノーマル再生、プログラム再生、ランダム再生、リピー
ト再生可能。

-
- *1 Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc. の登録商標または商標です。
 - *2 Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - *3 DSD は商標です。
 - *4 *Sound Wave Logo is a registered trade mark of MQA Limited. © 2018*
 - *5 *MQA is a registered trade mark of MQA Limited. © 2018*
 - *6 *MQA-CD is a registered trade mark of MQA Limited. © 2017*
 - *7 記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
-

本機の特徴

デジタル入力端子

コアキシャル I 系統、オプティカル I 系統を装備。44.1kHz から 192kHz までの S/PDIF フォーマット信号に対応。

デジタル入力 (S/PDIF) は、バーブラウン製 PCM9211 の PLL により低ジッター化。

他のオーディオ機器のデジタル音声出力信号を本機の高音質な回路を使用して再生可能。

DD コンバーター機能

USB を含む 192kHz/24bit 以下の入力を S/PDIF 方式でデジタル出力可能。

ラストメモリー機能

デジタル入力や SACD/CD、デジタルフィルター等の設定値をフラッシュメモリーに記憶。

ディマー機能

本体表示窓の明るさを 4 段階に切り替え可能。

デジタル出力オフ

デジタル音声出力をオフにすることによりアナログ出力の質を向上。

アナログ出力端子

金メッキ仕上げの RCA 出力端子 とノイトリック社製 XLR 端子。

アナログ出力位相切替

バランス出力、アンバランス出力共に位相切り替え可能。

オリジナル技術の採用

ラックスマン伝統のラウンドパターン配線基板や OFC の内部配線、オリジナルカスタムパーツ等をふんだんに採用。

電源ケーブル (JPA-10000i)

聴感上の周波数のうねりを排除するノンツイスト構造、無酸素銅 (OFC) の 2.0mm² 極太線を採用。

鋳鉄製インシュレーター

不要な外部振動を排除し、本体の重量を強固に支えるグラデーション鋳鉄製インシュレーターを装着。

リモコン (RD-29)

アルミケースのリモコン。タクトスイッチによる確かなクリック感を実現。

省エネルギー設計

待機時の消費電力を 1W に抑えた省エネルギー設計。

AC インレット

外付け電源ケーブルの装着を可能にする、ハイグレードな金メッキ (非磁性処理) AC インレット。

ハイイナーシャ電源

大容量の OI コアタイプ電源トランスとカスタム仕様の 3,300 μ F $\times$ 8 本のコンデンサーブロックを組み合わせ、ハイイナーシャ (高慣性) 電源回路。

ショットキーバリア・ダイオード

電源整流回路にはスイッチング・ノイズが少なく直流電圧への変換効率の高い、京セラ製ショットキーバリア・ダイオードを採用。

オリジナル OFC ワイヤー

内部配線は芯線の非メッキ処理で自然な信号伝送を実現した、オリジナルの OFC ワイヤーを採用。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機で再生できるディスクの種類とマーク			
			
			

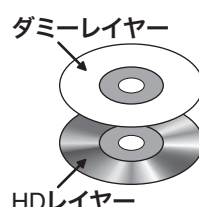
本機はアダプター（CD 用）を使用しないで 8cmCD を再生することができます。8cm アダプター（CD 用）は使用しないでください。

- ・レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- ・ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。
- ・詳しい CD-R/CD-RW ディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

Super Audio CD

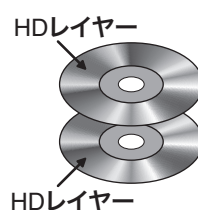
— 3 種類のディスクバリエーション —

・シングルレイヤー



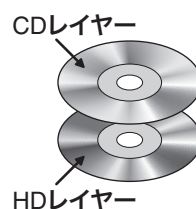
Super Audio CD 層が一層のディスクです。

・デュアルレイヤー



長時間に対応した Super Audio CD 層が二層のディスクです。

・ハイブリッドレイヤー



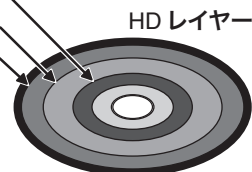
通常の CD 層と Super Audio CD 層の両方を持ったタイプです。

ハイブリッドレイヤーディスクの場合、Super Audio CD プレーヤーでは HD レイヤーの高音質を楽しめますし、既存の CD プレーヤーで再生しても CD レイヤーの音を聞くことができます。

HD レイヤー：スーパーオーディオ CD 層
CD レイヤー：現行の CD 層

HD レイヤーには

- ・2 チャンネルステレオエリア
 - ・マルチチャンネルエリア
 - ・エクストラデータエリア（将来の拡張用）
- が用意されています。



Super Audio CD と CD の比較

項目	Super Audio CD	CD
ディスク直径 (cm)	12	12
ディスク厚さ (mm)	1.2	1.2
符号化方式	1 ビットダイレクトストリームデジタル (DSD)	16 ビットリニア PCM
サンプリング周波数	2.8224 MHz (CD の 64 倍)	44.1 kHz
記録可能時間	2ch のみで 109 分。2ch+ マルチ ch でそれぞれ 60 ～ 70 分程度収録可能 *1	74 分
チャンネル数	2、3、3.1、4、4.1、5、5.1	2
最大トラック数	255	99
最大インデックス数	255	99
再生周波数範囲	DC ～ 100 kHz	5 ～ 20 kHz
ダイナミックレンジ *2	120 dB 以上 (可聴帯域)	96 dB

*1 記録時間はシングルレイヤーの場合で、収録可能時間は DST (Direct Stream Transfer)*3 の圧縮率により変わります

*2 理論上の数値

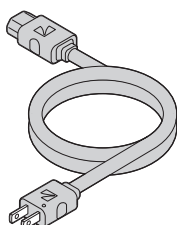
*3 DSD 信号の特性に注目して開発された DSD 信号用の可変ビットレート・可逆 (ロスレス) 圧縮方式

お使いの前に

付属品の確認

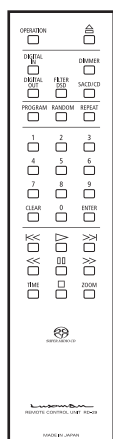
箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

- 電源ケーブル (JPA-10000i)

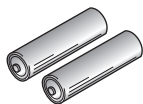


※付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

- リモートコントロールユニット (RD-29)



- 単 4 形乾電池 (2 本)

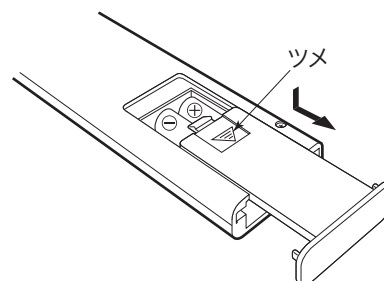


- 保証書
- プレミアム延長保証登録申請書
- 安全上のご注意
- 取扱説明書 (本書)

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

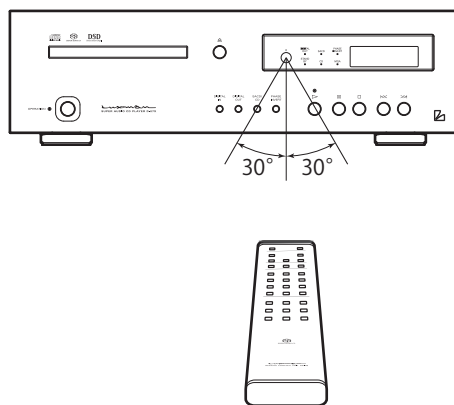
1. リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーをはずしてください。
バッテリー・カバーのツメに指を乗せて軽く押し、バッテリー・カバーを下にスライドして抜いてください。
2. バッテリー・ケースの中の図と同じように電池の $\oplus$ $\ominus$ を合せて単 4 乾電池を入れます。
3. バッテリー・カバーをはずしたときと逆に、下の方からバッテリー・カバーのツメ側をあてがいスライドしてパチッと音がするまで押し込んでください。



- ・新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長い間 (1 ヶ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- ・不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示 (条例) に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約5m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

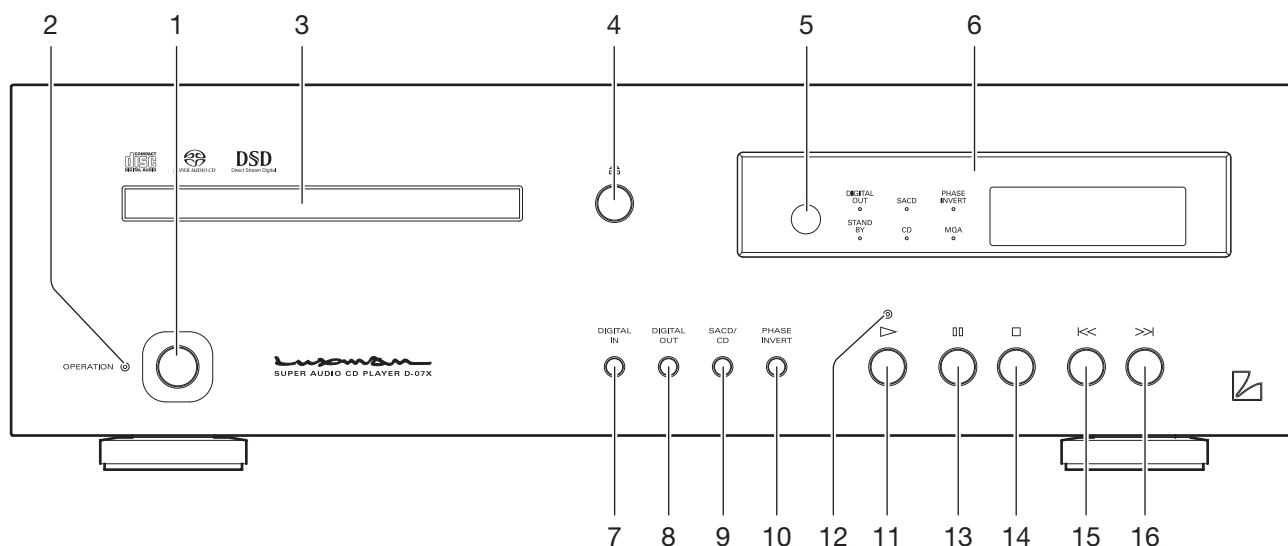


有効距離 約5m

リモコン受光部に直接日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因となります。

各部の名称と用途

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

本機をスタンバイ状態から動作状態にするためのスイッチです。

2. オペレーション・インジケータ (OPERATION)

オペレーション・スイッチをオンにするとウォーミングアップ中は点滅し、その後動作状態になると点灯します。

3. ディスクテーブル

ディスクを出し入れするときに、オープン/クローズ・スイッチ (4) で開閉します。

4. オープン/クローズ・スイッチ (4)

ディスクテーブルを開閉するときに押します。

5. リモコン受光部 (R)

付属のリモコンからの信号を受信するためのセンサーです。

6. 表示窓

本機の動作状況を表示します。
6 個のインジケータと表示管で構成されます。

7. デジタル入力切替スイッチ (DIGITAL IN)

本機を D/A コンバーターとして使用するときには押します。コアキシャル、オプティカル、USB、内部プレーヤーを切り替えます。

8. デジタル出力切替スイッチ (DIGITAL OUT)

デジタル音声出力をオン・オフするときに押します。
押すたびにオンとオフが切り替わります。Super Audio CD (HD 層選択) ではデジタル音声出力できません。

9. Super Audio CD/CD 切替スイッチ (SACD/CD)

Hybrid Super Audio CD を再生するときに、再生レイヤーを HD 層 (通称 SACD 層) と CD 層の間で切り替えます。

10. フェイズ・インバート切替スイッチ (PHASE INVERT)

リアパネルにあるアナログ出力の位相を反転します。
バランス出力とアンバランス出力は共に反転します。
この設定は、電源を切ってもフラッシュメモリーに記憶されます。

このスイッチを押すたびに、NORMAL → INVERT
→ NORMAL → INVERT……と変化します。

[ノーマル・ポジション]

1. GROUND
2. COLD (－)
3. HOT (+)

[インバート・ポジション]

1. GROUND
2. HOT (+)
3. COLD (－)

11. プレイ・スイッチ (▶)

ディスクを再生します。

12. プレイ・インジケータ

ディスクを再生しているときに点灯します。一時停止
のときは点滅します。

13. ポーズ・スイッチ (⏸)

再生中に押すと音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。一時停止中は、プレイ・インジケータが点滅します。

14. ストップ・スイッチ (□)

ディスクの再生を停止します。

15. プレビアス・スイッチ (◀◀)

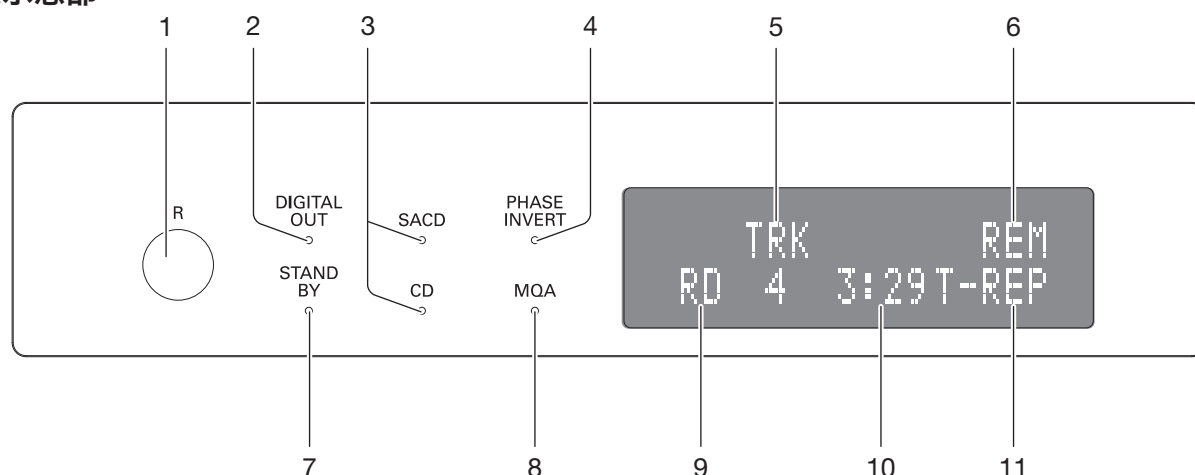
現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2回押すと
前のトラックの先頭に戻ります。

16. ネクスト・スイッチ (▶▶)

次のトラックの先頭に進みます。

各部の名称と用途

本体表示窓部



1. リモコン受光部 (R)

リモコンの赤外線信号を受けます。

2. デジタルアウト・インジケータ (DIGITAL OUT)

デジタル音声出力がオンのときに点灯します。Super Audio CD (HD 層選択) ではデジタル音声出力できませんので、消灯します。

3. Super Audio CD/CD インジケータ (SACD/CD)

Hybrid Super Audio CD の HD 層 (通称 SACD 層) を再生しているときに SACD インジケータが点灯します。CD もしくは Hybrid Super Audio CD の CD 層を再生しているときに CD インジケータが点灯します。

4. フェイズ・インバートインジケータ (PHASE INVERT)

フェイズ・インバート切替スイッチを押してアナログ出力の位相が反転しているときに点灯します。

[消灯 (ノーマル・ポジション)]

1. GROUND
2. COLD (－)
3. HOT (＋)

[点灯 (インバート・ポジション)]

1. GROUND
2. HOT (＋)
3. COLD (－)

5. トラック・ナンバー表示 (TRK)

トラック番号が表示されているときに上段には “TRK” と表示され、下段にはトラック番号が表示されます。

6. 時間表示モード

残り時間表示のモードを表します。トラックの残り時間のときに “REM”、ディスクの残り時間のときに “T-REM”、トラックの経過時間のときは非表示になります。

7. スタンバイ・インジケータ (STANDBY)

スタンバイ状態のときに点灯します。

8. MQA インジケータ (MQA)

MQA-CD や MQA ファイル、MQA ストリーミングの再生中に点灯します。

[消灯]

MQA 音源以外であることを示しています。

[点灯 (緑)]

MQA ストリームまたはファイルを本機がデコードおよび再生して、オリジナル音源と同レベルであることを確認したときに点灯します。

[点灯 (青)]

アーティストやプロデューサー、または著作権所有者が承認した MQA スタジオファイルを再生しているときに点灯します。

[点灯 (赤紫)]

MQA ストリームまたはファイルを受信しているときに点灯します。最終的に MQA ファイルが展開され、元のサンプリング周波数が表示されます。

9. 再生モード表示

ランダム再生のとき“RD”が表示され、プログラム再生のときは“PG”が表示されます。通常再生のときは非表示になります。

10. 時間表示

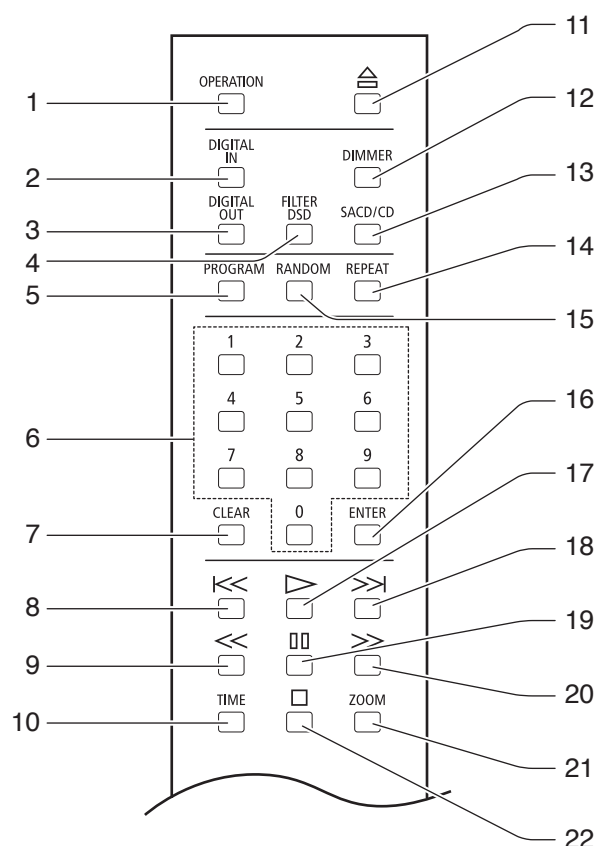
再生しているトラックの経過時間、再生しているトラックの残り時間、ディスクの残り時間を表示します。時間表示モードにより内容を切り替えます。

11. リピート・モード表示

曲を繰り返し再生するときのモードを表示します。トラック・リピート (T-REP) とオール・リピート (A-REP) の2種類があります。

各部の名称と用途

リモコン



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

スタンバイ状態（待機状態）のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケータが消灯し、オペレーション状態（動作状態）になります。オペレーション状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

2. デジタル入力切替スイッチ (DIGITAL IN)

本機を D/A コンバーターとして使用するときには押します。コアキシャル、オプティカル、USB、内部プレーヤーを切り替えます。

3. デジタル出力切替スイッチ (DIGITAL OUT)

デジタル出力 (COAX/OPT) の出力をオン／オフするスイッチです。

4. アナログ FIR フィルター切替スイッチ (FILTER DSD)

Super Audio CD (HD 層) もしくは、DSD ファイルを再生しているときのアナログ FIR フィルターを切り替えるスイッチです。

音質が変化しますので、好みの音質となるフィルターを選択してください。フィルターは D-1、D-2 の 2 種類があります。

このスイッチを押すと表示窓に現在の設定値 (D-1、D-2) が表示されます。

設定値を表示中にもう一度スイッチを押すと次の設定値が表示されます。

設定値を表示中にエンター・スイッチ (ENTER) を押すと設定値が確定されます。

エンター・スイッチ (ENTER) を押さないと、フィルターは変更されません。

5. プログラム・スイッチ (PROGRAM)

トラック番号をプログラムしてお好みの順番に再生します。

6. 数字キー (1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 0)

ダイレクト・サーチやプログラムをするときに、トラック番号を指定するために使用します。

7. クリア・スイッチ (CLEAR)

プログラム再生で設定した内容を取り消すために使用します。

8. プレビアス・スイッチ (◀◀)

現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2回押すと前のトラックの先頭に戻ります。

9. 早戻しスイッチ (◀◀)

再生中、音声の早戻しをします。

10. 時間表示スイッチ (TIME)

時間表示を切り替えます。再生しているトラックの経過時間、再生しているトラックの残り時間、ディスクの残り時間を切り替えます。

11. オープン/クローズ・スイッチ (⌂)

ディスクテーブルを開閉するときに押します。

12. ディマー・スイッチ (DIMMER)

本体表示窓の明るさを調整します。通常の点灯から消灯まで明るさを4段階に切り替えられます。

13. Super Audio CD/CD 切替スイッチ (SACD/CD)

Hybrid Super Audio CDを再生するときに、再生レイヤーをHD層（通称SACD層）とCD層の間で切り替えます。

14. リピート・スイッチ (REPEAT)

曲を繰り返し再生する時に押します。トラック・リピート (T-REP) とオール・リピート (A-REP) の2種類があります。

15. ランダム・スイッチ (RANDOM)

ディスク内の曲を順不同に再生するときに押します。

16. エンター・スイッチ (ENTER)

設定/選択した項目を実行する時に押します。

17. プレイ・スイッチ (▶)

ディスクを再生します。

18. ネクスト・スイッチ (>>)

次のトラックの先頭に進みます。

19. ポーズ・スイッチ (⏸)

再生中に押すと音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。一時停止中は、プレイ・インジケーターが点滅します。

20. 早送りスイッチ (>>>)

再生中、音声の早送りをします。

21. ズーム・スイッチ (ZOOM)

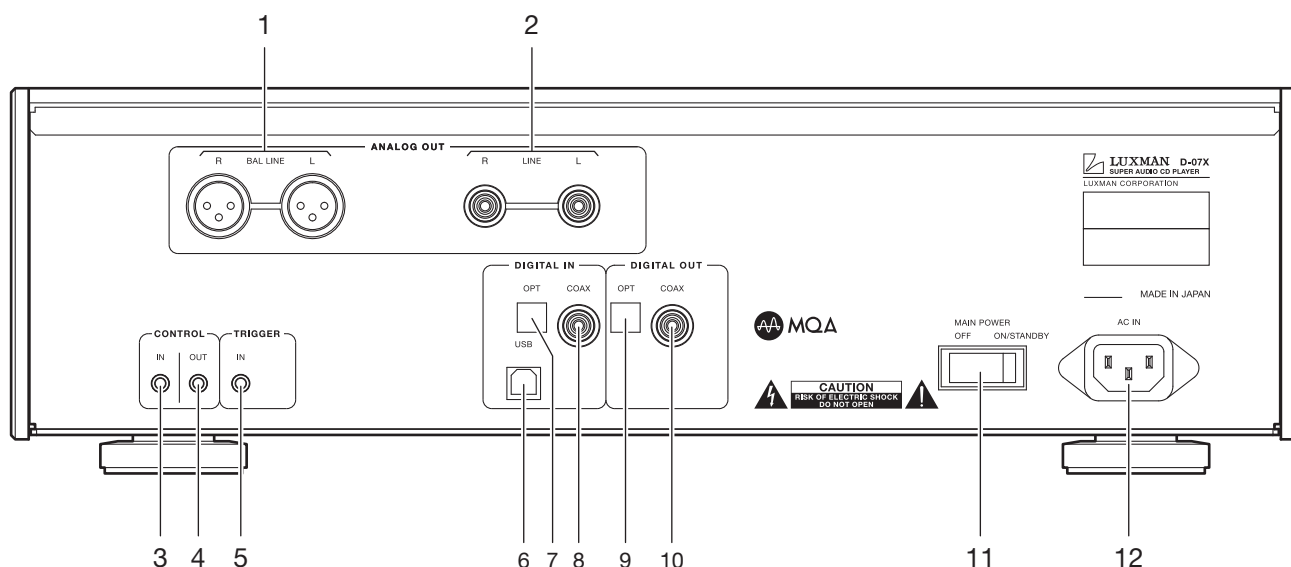
ディスク再生中に押すとトラックナンバーや時間情報などを拡大して表示します。

22. ストップ・スイッチ (⏹)

ディスクの再生を停止します。

各部の名称と用途

本体後面



1. アナログ・バランス出力端子 (BAL LINE)

本機のバランス再生信号を出力するキャノンコネクター出力端子です。

プリ・アンプなどの機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続してください。

フロントパネルのアナログ出力位相切替スイッチ (PHASE INVERT) によって位相を切り替えることができます。

本機出力端子の位相は以下になっています。

[ノーマル・ポジション]

1. GROUND
2. COLD (－)
3. HOT (＋)

[インバート・ポジション]

1. GROUND
2. HOT (＋)
3. COLD (－)

2. アナログ・アンバランス出力端子 (LINE)

本機のアンバランス再生信号を出力するコアキシャル出力端子です。

プリ・アンプなどの機器のアンバランス入力にピンケーブルを使用して接続してください。

フロントパネルのアナログ出力位相切替スイッチ (PHASE INVERT) によって位相を切り替えることができます。

3. コントロール入力端子 (CONTROL IN)

コントロール出力端子のあるラックスマン製機器と市販の3.5mmミニプラグモノラルケーブルで接続します。これにより他機の受光部で本機のリモコンを受光し、操作することができます。

(本機受光部は機能しません。)

4. コントロール出力端子 (CONTROL OUT)

コントロール入力端子のあるラックスマン製機器と市販の3.5mmミニプラグモノラルケーブルで接続します。これにより本機受光部で他機のリモコンを受光し、操作することができます。

(入力を接続した他機受光部は機能しません。)

5. トリガー入力端子 (TRIGGER IN)

トリガー入力端子にトリガー出力端子のあるコントロールアンプやパワーアンプなどを接続します。リアパネルにあるメイン電源スイッチをオン/スタンバイにした状態で、接続元の機器に連動して本機を動作状態/スタンバイ状態にすることができます。

なお、メイン電源スイッチがオフの状態では連動できません。

6. USB デジタル入力端子 (USB)

PC/Mac などのデジタル信号を USB ケーブルを使用して本機に入力する USB 規格(B タイプ)の入力端子です。以下の信号に対応しています。

・PCM 信号

サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、
96 kHz、176.4 kHz、192 kHz、
352.8 kHz、384 kHz、
705.6 kHz、768 kHz

量子化ビット数 : 16 bit、24 bit、32 bit

・DSD 信号

サンプリング周波数：2.8 MHz、5.6 MHz、
11.2 MHz、22.4 MHz

量子化ビット数 : 1 bit

PC の OS が Windows の場合では、弊社ホームページから専用のドライバー・ソフトウェアのダウンロードとインストールが必要となります。

詳細は、弊社ホームページの「ドライバーインストールマニュアル」をご参照ください。

Mac では、本機は自動的に認識されます。

ご注意：

ドライバー・ソフトウェアのインストール前に、PC と本機を USB ケーブルで接続しないでください。正常に動作しない場合があります。

7. 光デジタル入力端子 (OPT)

本機を D/A コンバーターとして使用するとき、デジタル出力端子を備えた CD プレーヤーなどのデジタル信号を光デジタルケーブルを使用して本機に接続します。

以下の PCM 信号に対応しています。

サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、
96 kHz、176.4 kHz、192 kHz

量子化ビット数 : 16 bit、20 bit、24 bit

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

8. 同軸デジタル入力端子 (COAX)

本機を D/A コンバーターとして使用するとき、デジタル出力端子を備えた CD プレーヤーなどのデジタル信号を同軸デジタルケーブルを使用して本機に接続します。

以下の PCM 信号に対応しています。

サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、
96 kHz、176.4 kHz、192 kHz

量子化ビット数 : 16 bit、20 bit、24 bit

9. 光デジタル出力端子 (OPT)

デジタル入力端子のある D/A コンバーターやアンプなどと接続するとき、光デジタルケーブルを使って接続します。Super Audio CD (HD 層選択) や DSD ファイルを再生している場合はデジタル音声出力できません。

または、352.8 kHz、384 kHz、705.6 kHz、768 kHz のサンプリング周波数の PCM データを再生している場合も、デジタル音声は出力できません。

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

10. 同軸デジタル出力端子 (COAX)

デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するとき、同軸デジタルケーブルを使って接続します。Super Audio CD (HD 層選択) や DSD ファイルを再生している場合はデジタル音声出力できません。

または、352.8 kHz、384 kHz、705.6 kHz、768 kHz のサンプリング周波数の PCM データを再生している場合も、デジタル音声は出力できません。

11. メイン電源スイッチ (MAIN POWER)

本機をスタンバイ状態にするためのスイッチです。

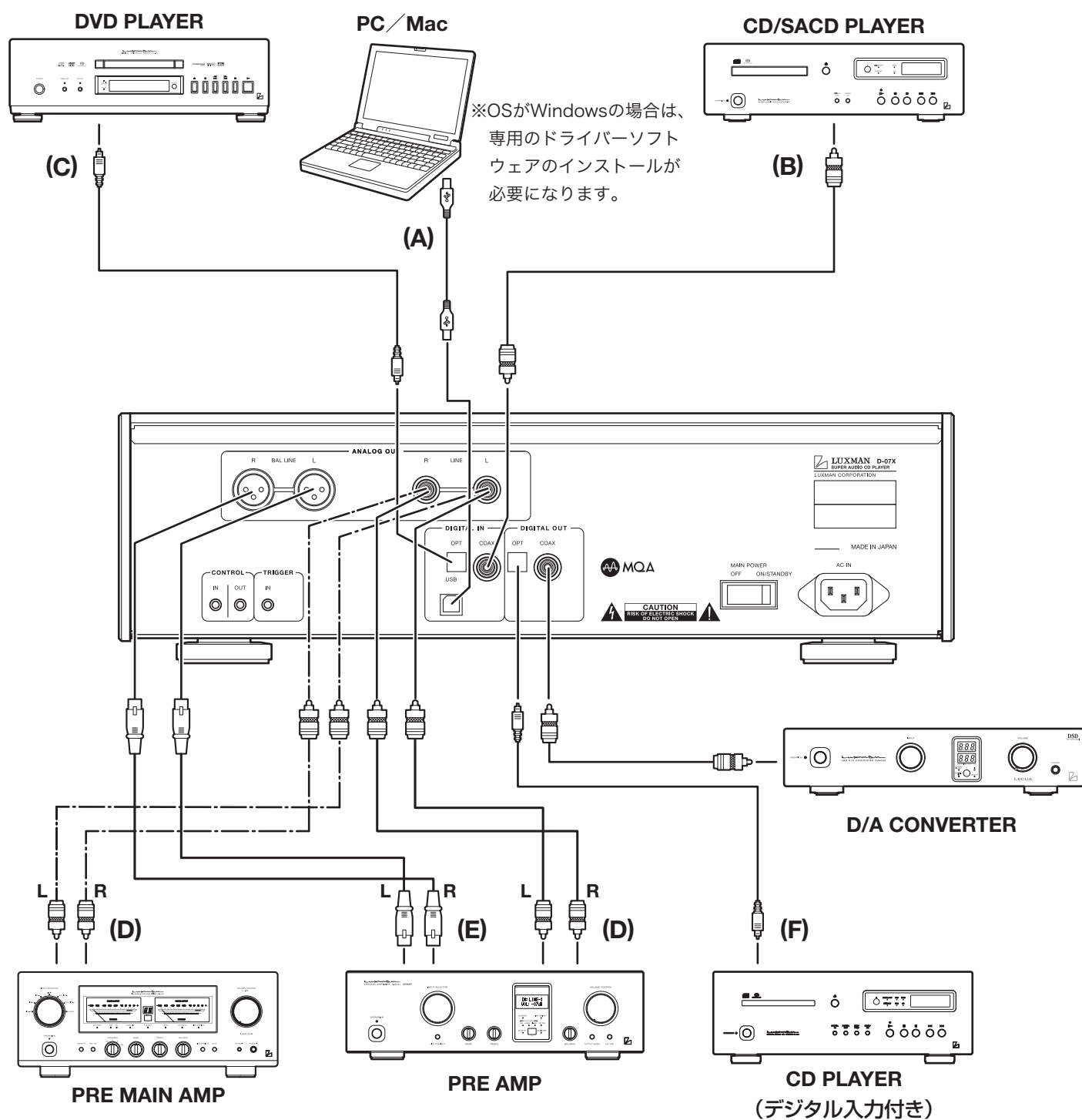
オン/スタンバイにすると、フロントパネルにあるスタンバイ・インジケータが点灯し、本機がスタンバイ状態になったことを示します。

オフにすると、フロントパネルにあるスタンバイ・インジケータが消灯し、メイン電源オフ状態になったことを示します。

12. 電源ケーブル接続端子 (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続して、壁のコンセントから電源を供給します。

接続方法



接続する前に

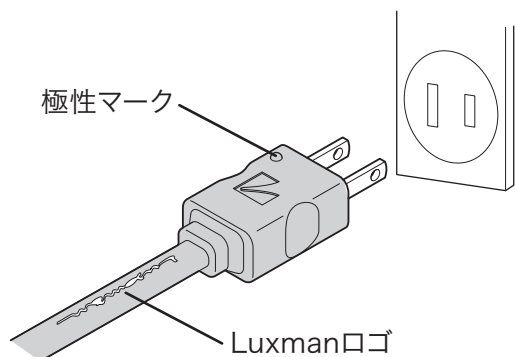
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。プラグにある極性マークがコンセントに向かって左側になるように（ケーブルの Luxman ロゴが見えるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



入力機器の接続

1. PC/Mac からのデジタル接続 （接続図（A）を参照）

PC/Mac の USB 規格（A タイプ）端子から、本機の USB 規格（B タイプ）端子へ USB ケーブルで接続してください。

PC の OS が Windows の場合では、弊社ホームページから専用のドライバー・ソフトウェアのダウンロードとインストールが必要となります。

詳細は、弊社ホームページの「ドライバーインストールマニュアル」をご参照ください。

Mac では、本機は自動的に認識されます。

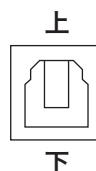
ご注意：

ドライバー・ソフトウェアのインストール前に、PC と本機を USB ケーブルで接続しないでください。正常に動作しない場合があります。

2. CD プレーヤーなどからのデジタル接続 （接続図（B）、（C）を参照）

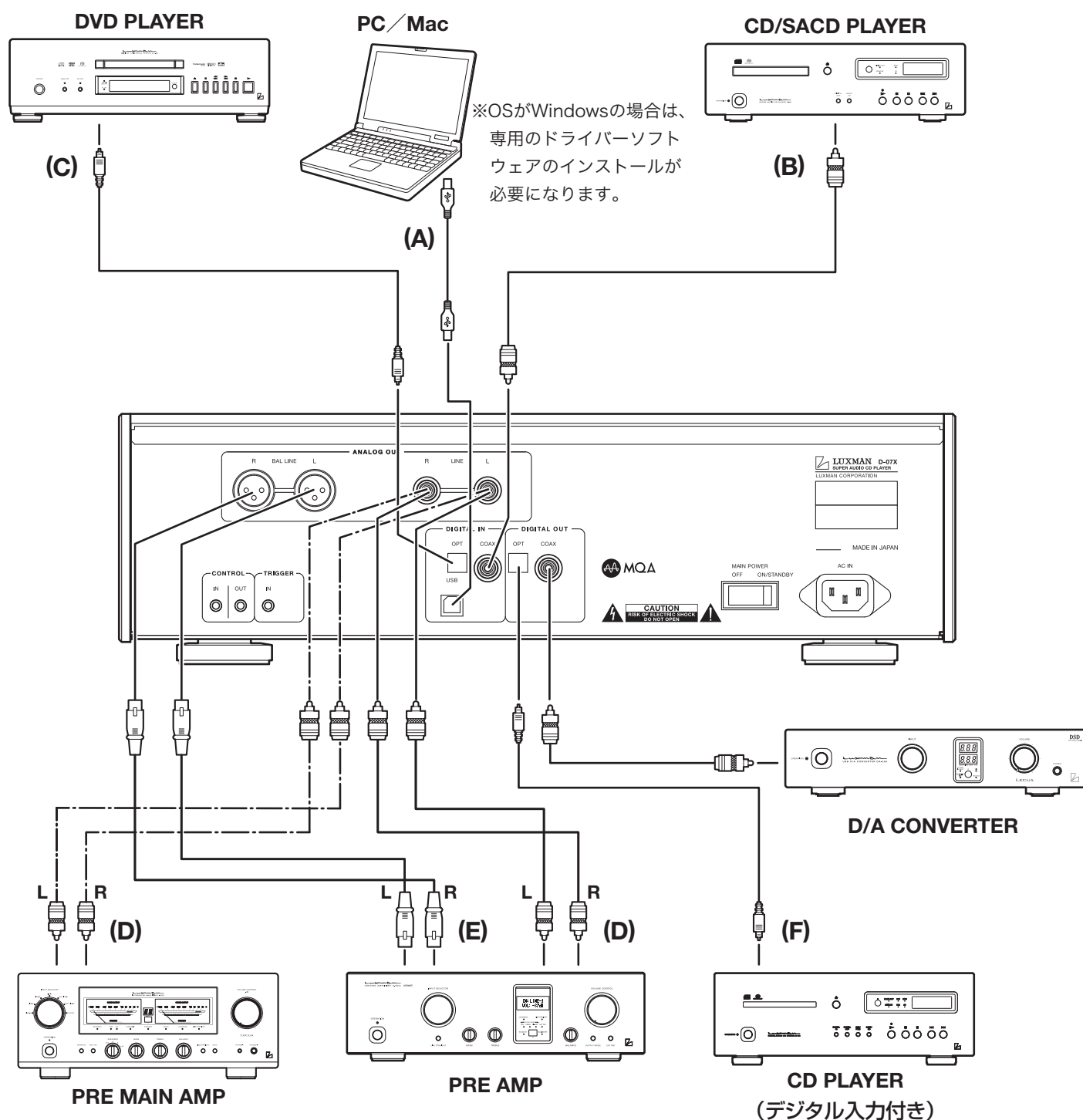
CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、DVD プレーヤーなどのデジタル出力端子（同軸デジタル出力端子、光デジタル出力端子）から、本機のデジタル入力端子（COAX / OPT）へ同軸デジタルケーブル、光デジタルケーブルで接続してください。

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。



本機の光端子の向きは左図のようになっています。

接続方法



出力機器の接続

1. プリメインアンプなどへのアンバランス接続 (接続図 (D) を参照)

本機のアナログ・アンバランス出力端子 (LINE) から、プリメインアンプなどのアンバランス入力端子へ L、R2 本のピンケーブルで接続してください。

2. プリアンプなどへのバランス接続 (接続図 (E) を参照)

本機のアナログ・バランス出力端子 (BAL LINE) から、プリメインアンプ等のバランス入力端子へ L、R2 本の XLR バランスケーブルで接続してください。

3. 他の D/A コンバーターなどへのデジタル出力 (接続図 (F) を参照)

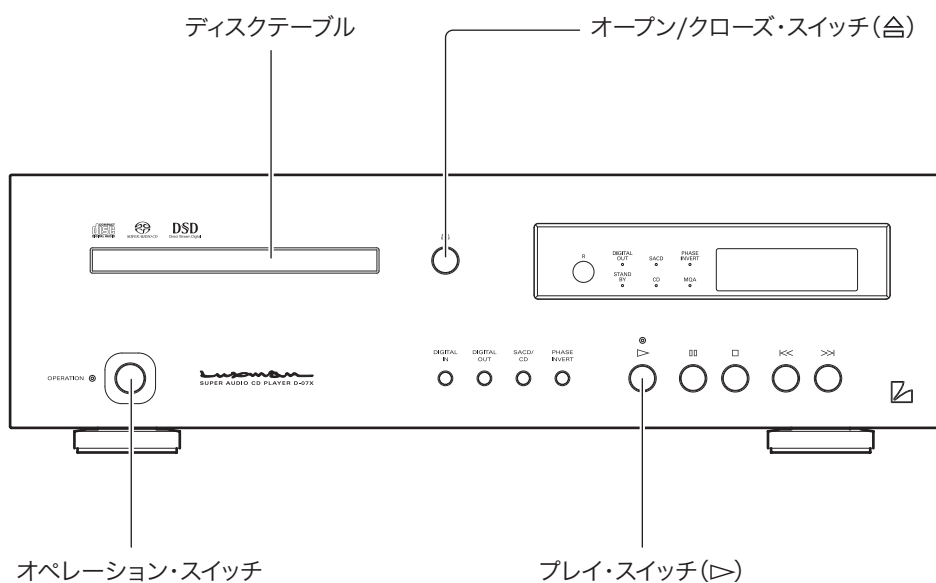
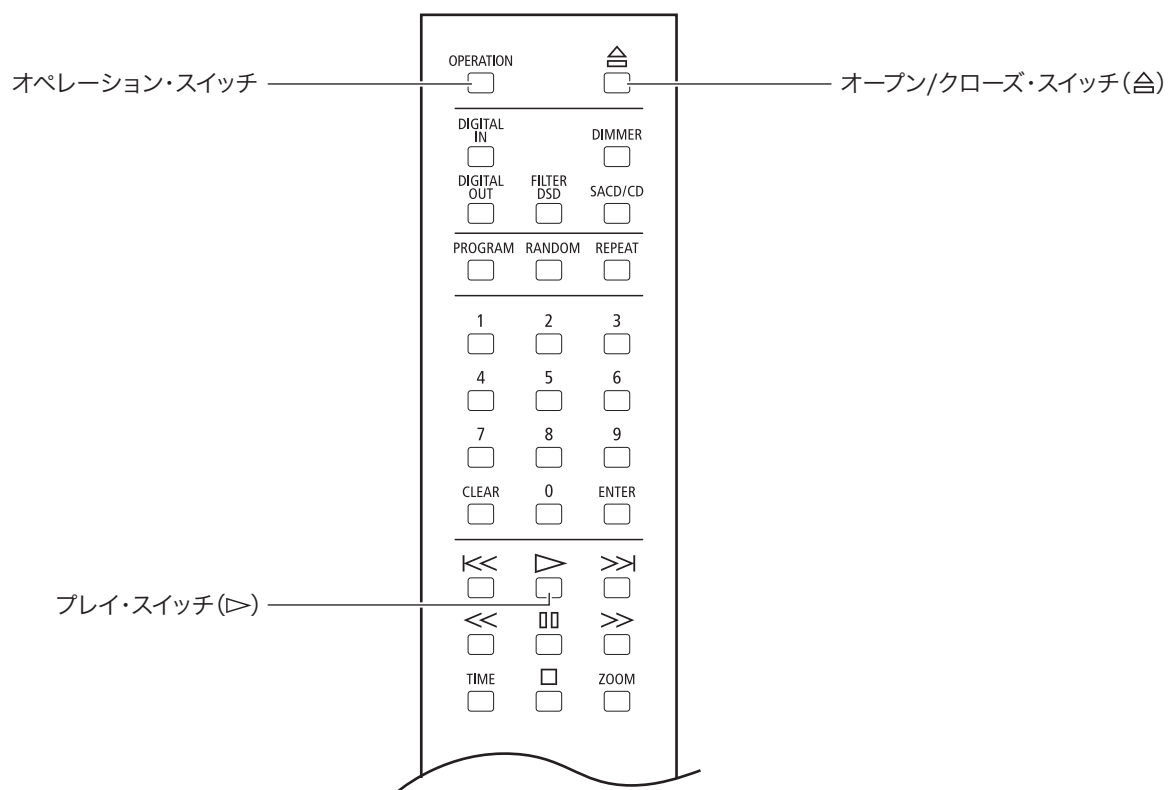
本機のデジタル出力端子 (COAX/OPT) から、D/A コンバーターやデジタル入力端子を備えた CD プレーヤーなどへ、同軸デジタルケーブルや光デジタルケーブルで接続してください。

トリガー入力端子と他の機器との接続

トリガー出力端子のある機器と市販の 3.5mm ミニプラグモノラルケーブルで接続します。これにより接続元の機器に連動して本機を動作状態／スタンバイ状態にすることができます。

他社の製品から接続する場合には TRIGGER 出力が 12V であることを確認の上、接続してください。また、本機のトリガー入力 12V での消費電流は 13mA となっています。

ディスクの再生



ディスクを再生する



1. オペレーション・スイッチを押します。

表示窓に“-OPERATION-”の文字が現れ、この文字が消えれば操作可能になります。

2. オープン/クローズ(Ⓔ) スイッチを押します。

ディスクテーブルが開きます。

3. ディスクテーブルのガイドに合わせて、ディスクを置きます。

4. オープン/クローズ(Ⓔ) スイッチを押します。

ディスクテーブルが閉まり、ローディングを始めます。

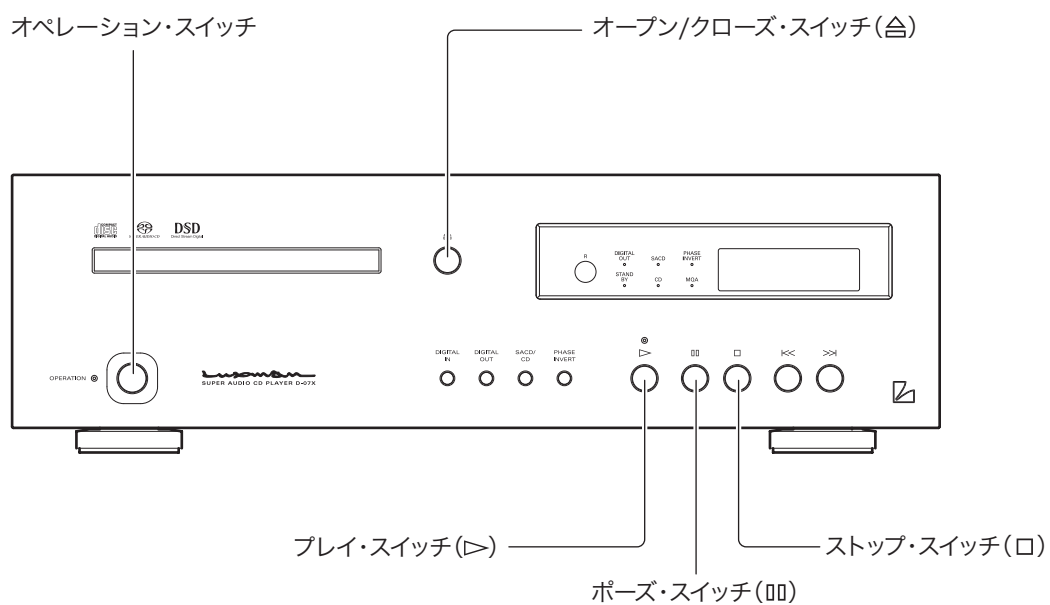
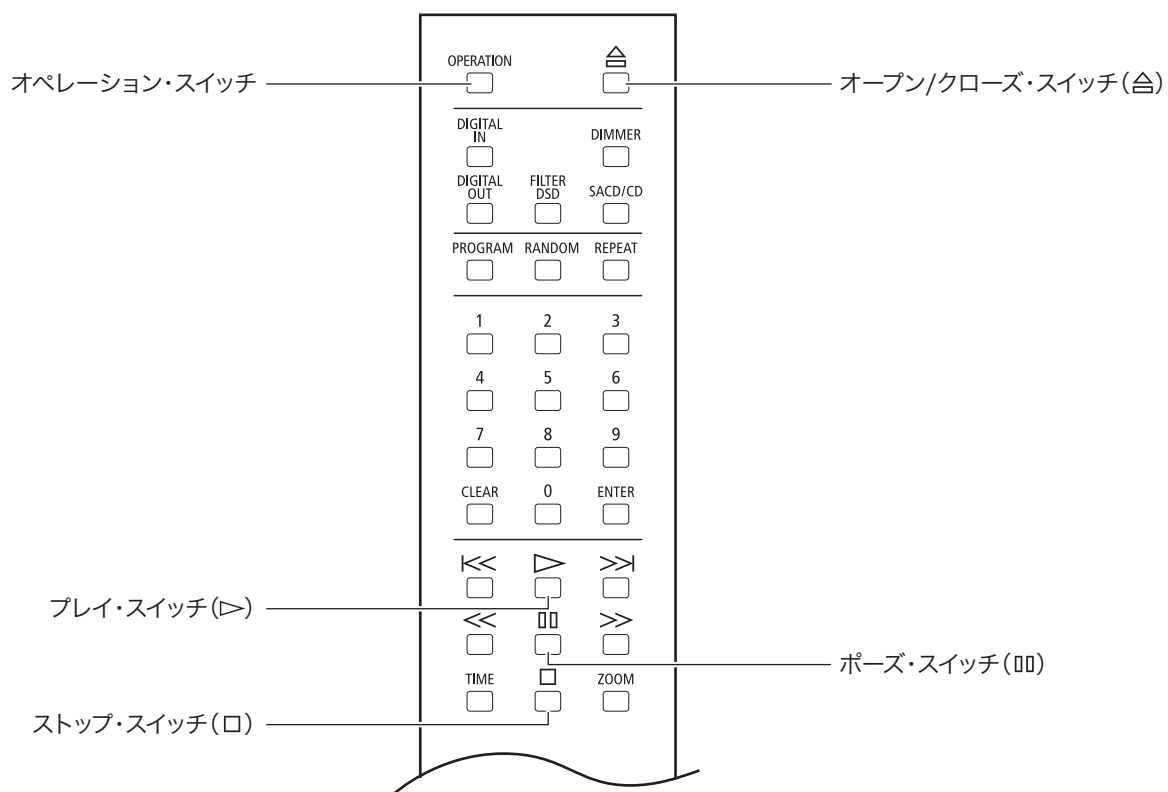
素早くディスクを再生するには、オープン/クローズ(Ⓔ)を押さずにプレイ(▶)スイッチを押します。

もしくはオープン/クローズ(Ⓔ)を押さずに数字キーを押して選曲しエンター・スイッチもしくはプレイ(▶)スイッチを押します。

ローディング動作が始まってからディスクの種類を表示するまでは操作キーを受け付けません。予めトラック数を指定するなど次の動作を指定しておくことで、再生開始までの時間を短縮できます。

5. プレイ(▶) スイッチを押します。

ディスクの一時停止 / 停止



ディスクを一時停止 / 停止する



ディスクの一時停止

再生中にポーズ (⏏) スイッチを押します。

一時停止中は、プレイ・インジケータが点滅します。

通常の再生に戻る

一時停止中にプレイ (▶) スイッチもしくは
ポーズ (⏏) スイッチを押します。

ディスクを停止する

再生中にストップ (⏏) スイッチを押します。

ディスクの取り出し

オープン/クローズ (⏏) スイッチを押します。

ディスクテーブルが開きます。

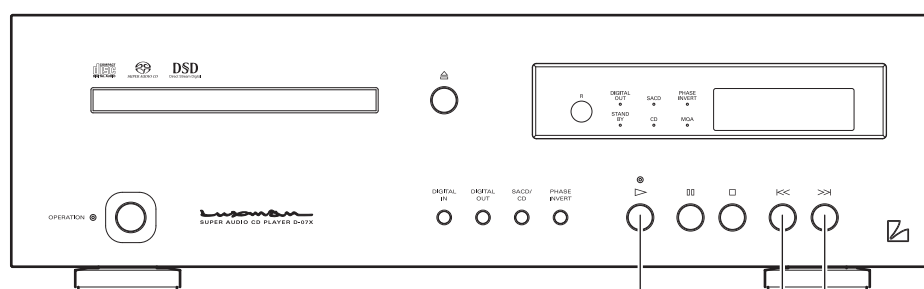
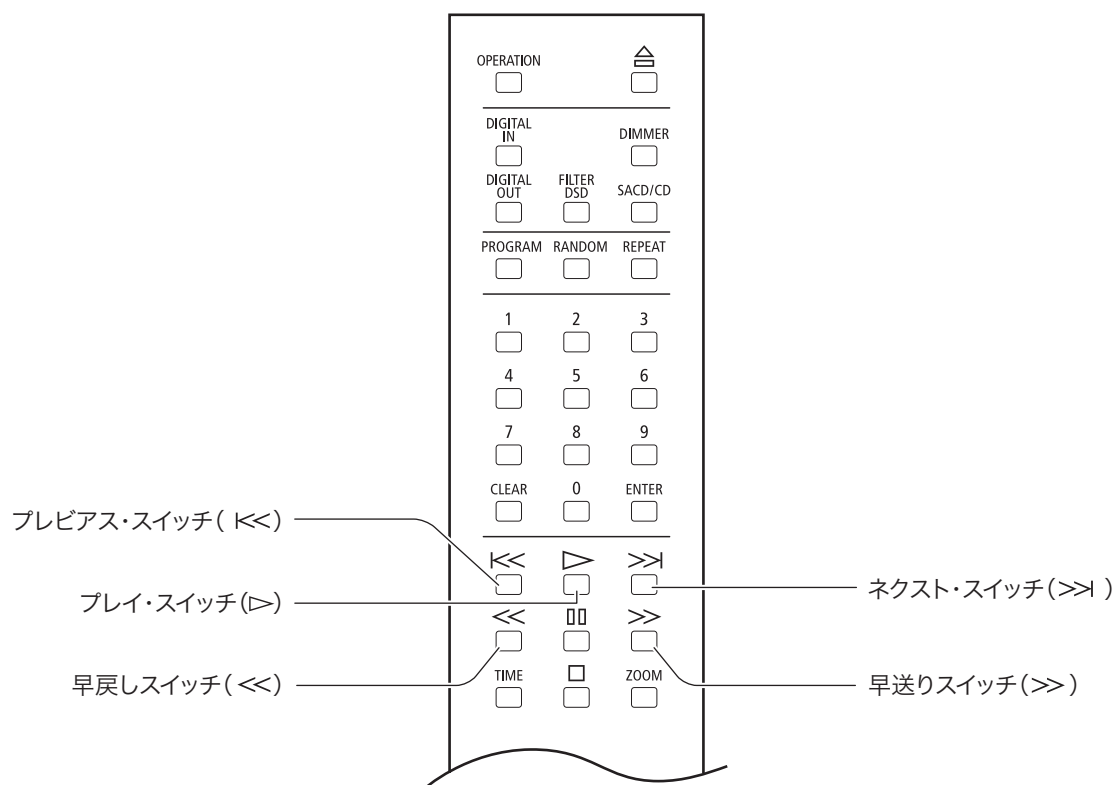
電源を切る (スタンバイ状態にする)

オペレーション・スイッチを押します。

表示窓に“-STANDBY-”の文字が現れ、スタンバイ・
インジケータが点灯します。

完全に電源を切るには、リアパネルにあるメイン電源
スイッチをオフにする必要があります。

スキップ / 早送り / 早戻し



プレイ・スイッチ (▷) プレビウス・スイッチ (K<<)

ネクスト・スイッチ (>>I)

聞きたいトラック (曲) にスキップする (頭出し)

リモコン ・ 本体

スキップ (頭出し) 再生したいトラックに進む

再生したいトラックに進むには、ネクスト (>>) スイッチを何回か押し、ご希望のトラックまでスキップします。

再生したいトラックに戻る

再生したいトラックに戻るには、プレビース (<<) スイッチを何回か押し、ご希望のトラックまでスキップします。

プレビース・スイッチを1回押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2回押すと前のトラックの先頭に戻ります。

ディスクを早送り / 早戻しする (スキャン)

リモコン

早送りする

1. 再生中に早送り (>>) スイッチを押す。

スイッチを押すたびに速さを4段階まで切り替えることができます。

表示窓に早送りと段階を表す ">>1, >>2, >>3, >>4" が表示されます。

2. 通常の再生に戻すにはプレイ (▷) スイッチを押します。

早戻しする

1. 再生中に早戻し (<<) スイッチを押す。

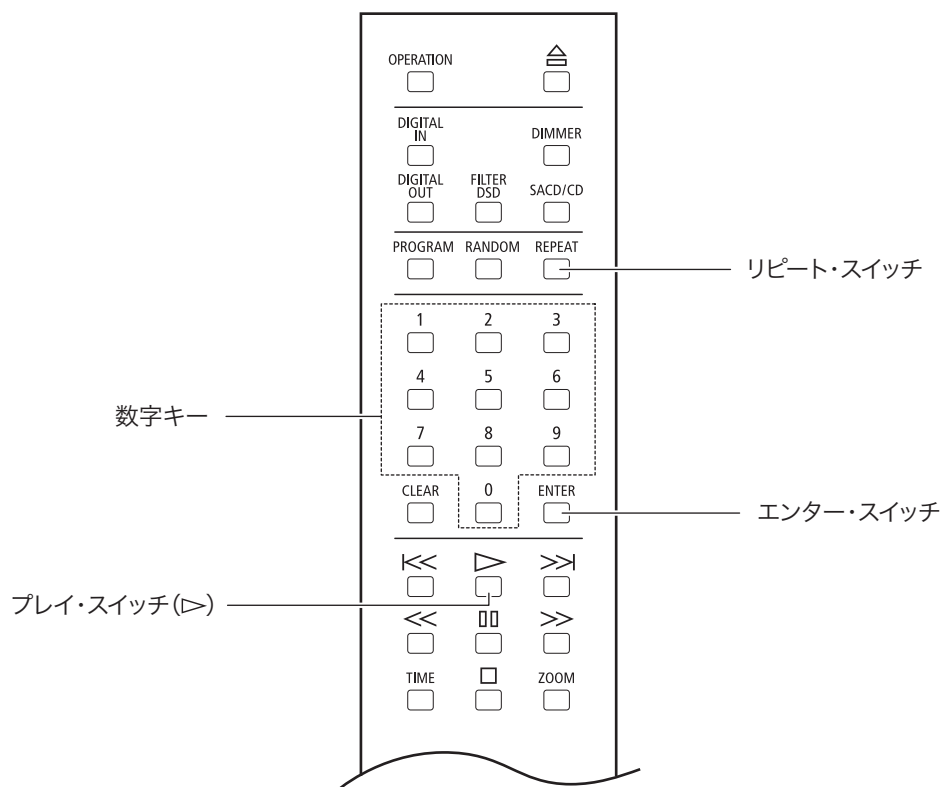
スイッチを押すたびに速さを4段階まで切り替えることができます。

表示窓に早送りと段階を表す "<<1, <<2, <<3, <<4" が表示されます。

2. 通常の再生に戻すにはプレイ (▷) スイッチを押します。

複数枚でセットになっている SACD では、ディスクの1曲目がトラック1でないことがあります。

ダイレクト・サーチ / リピート再生



聞きたいトラックを指定して再生する

リモコン

1. リモコンの数字キーでトラック番号を入力します。

15 曲目を選ぶときは、数字キーの “1” を押し、次に “5” を押します。

2. エンター・スイッチもしくはプレイ・スイッチを押します。

エンター・スイッチを押さなくても約 4 秒経過すると自動的に再生を開始します。Super Audio CD ではトラック数が最大 255 までであるため、3 桁の入力が終わるまでの時間を考慮し、自動ジャンプまで約 4 秒の間隔を取ってあります。

繰り返し再生する (リピート再生)

リモコン

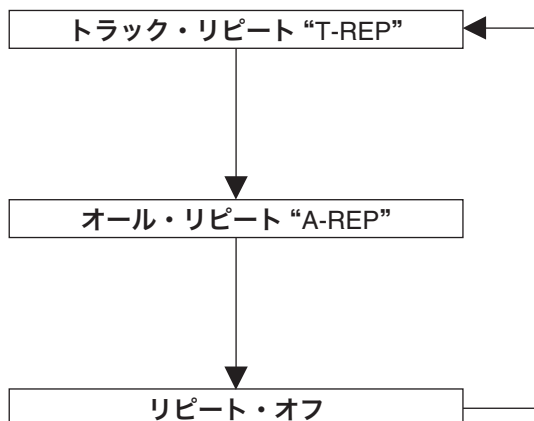
再生している1曲だけを繰り返すトラック・リピート(T-REP) とディスクの全曲を繰り返すオール・リピート(A-REP) があります。

トラック・リピート (T-REP)

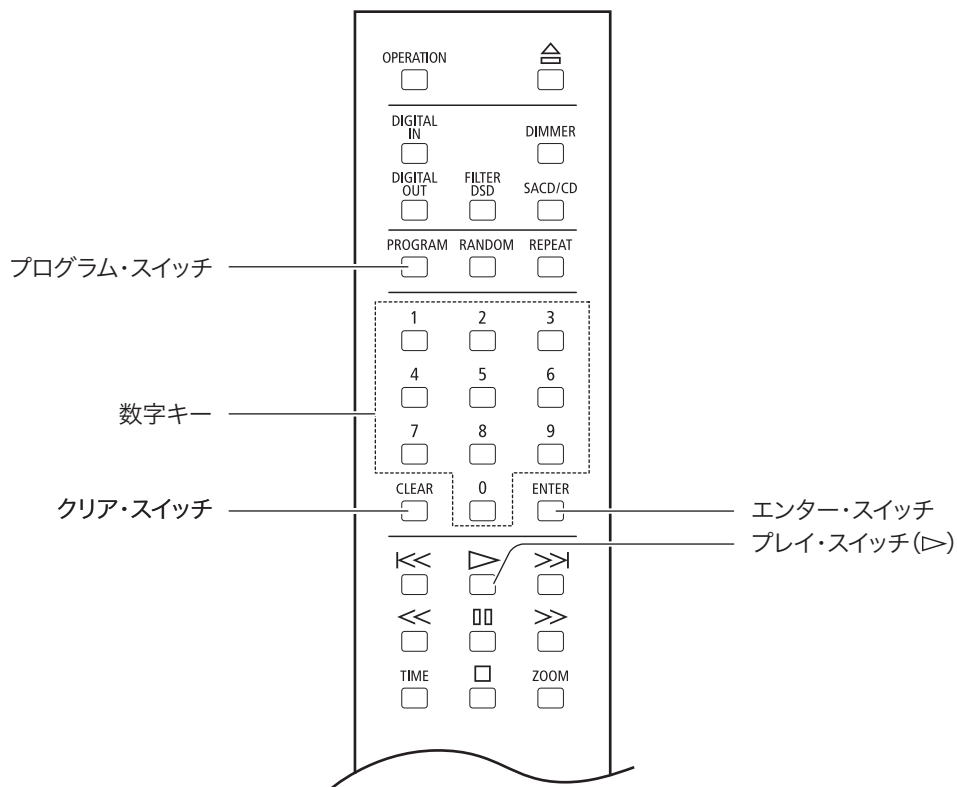
1. 再生中にリピート (REPEAT) スイッチを 1 回押します。
2. 表示窓にトラック・リピートを表す “T-REP” が表示されます。
3. 更にリピート (REPEAT) スイッチを 2 回押すと、トラック・リピートが解除されます。
ディスクを停止した場合もリピート再生は解除されます。

オール・リピート (A-REP)

1. 再生中にリピート (REPEAT) スイッチを 2 回押します。
2. 表示窓にオール・リピートを表す “A-REP” が表示されます。
3. 更にリピート (REPEAT) スイッチを 1 回押すと、オール・リピートが解除されます。
ディスクを停止した場合もリピート再生は解除されます。



プログラム再生



順番を変えて再生する (プログラム再生)

リモコン

聞きたいトラックを最大 24 個まで、お好みの
順番に登録することができます。

1. 停止中にプログラム (PROGRAM) スイッチを押します。

表示窓にプログラム用の表示が出ます。

PG 00	T-TIME
00:00	

2. 聞きたい曲の番号をリモコンの数字キーで押します。

5 曲目を選ぶときは、数字キーの “5” を押します。

PG 01	5
-------	---

3. エンター (ENTER) スイッチを押します。

曲番が確定し、プログラムしたトラック数とプログラムしたトラックの合計時間が表示されます。

PG 01	T-TIME
01:28	

4. 同様に、次に聞きたい曲の番号を入力します。

15 曲目を選ぶときは、数字キーの “1” を押し、次に “5” を押します。

PG 02	15
-------	----

5. エンター (ENTER) スイッチを押します。

曲番が確定し、プログラムしたトラック数とプログラムしたトラックの合計時間が表示されます。

	T-TIME
PG 02	02:01

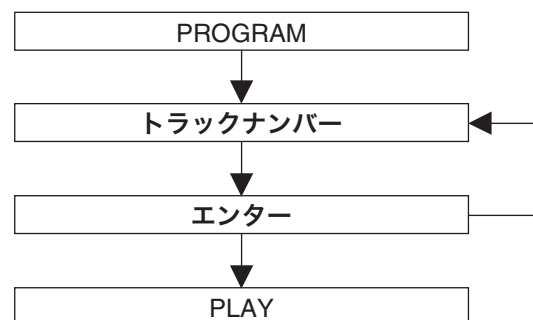
手順 2、3 を繰り返して、聞きたいトラックのトラック番号を登録します。

6. プレイ (▶) スイッチを押します。

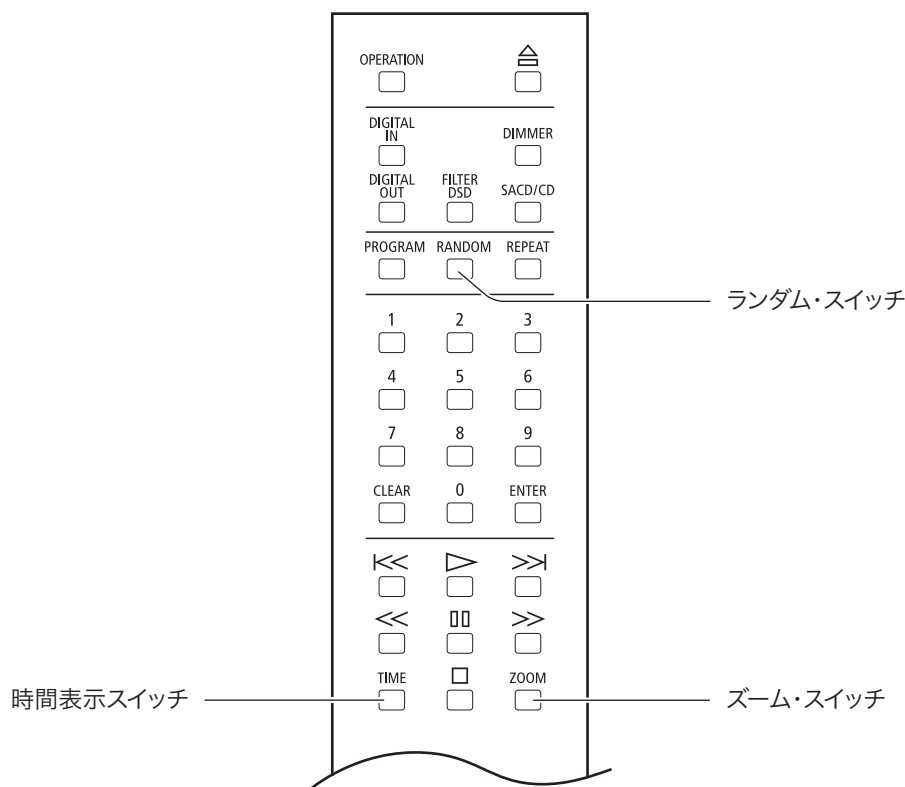
TRK
PG 5 1:25

-
- ・停止中に PROGRAM スイッチを押すと、プログラムされている内容をすべて消去します。
 - ・停止中に CLEAR スイッチを押すと、最後に登録したトラックから順番に削除します。
 - ・一時停止をプログラムすることはできません。
 - ・プログラム再生中に REPEAT スイッチを押すと、プログラム順番のオール・リピート再生になります。
 - ・プログラム再生中はトラック・リピートにはできません。
 - ・プログラム再生中にネクスト (>>) スイッチを押すと次のプログラムのトラックを再生します。
 - ・もう一度プログラム再生するときは、停止中にプレイ (▶) スイッチを押します。
-

手順



ランダム再生 / ディスク情報 / ズーム



順不同に再生する
(ランダム再生)

リモコン

全ての曲から順不同に選んで、各曲を1回ずつ再生します。

1. ランダム (RANDOM) スイッチを押します。

2. 表示窓にランダム再生を表す“RD”が表示されます。すべての曲を終了すると、自動的に停止します。

ディスクを停止するか、ランダム（RANDOM）スイッチをもう一度押すとランダム再生を停止します。ランダム再生中にネクスト（>>）スイッチを押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、プレイバス（<<）スイッチを押すと現在再生中のトラックの始めに戻ります。

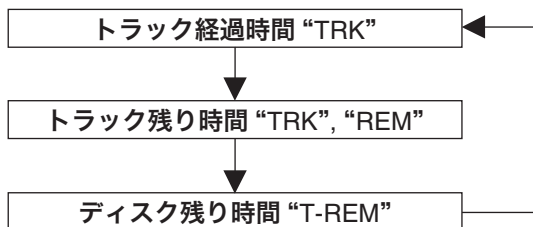
ディスク情報

リモコン

再生中に時間表示を切り替えます。

再生中に時間表示 (TIME) スイッチを押すたびに、以下のように切り替わります。

1. 現在のトラック番号とそのトラックの経過時間 (デフォルト設定)
表示窓に “TRK” が表示されます。
2. 現在のトラック番号とそのトラックの残り時間 (リメイン)
表示窓に “TRK” と “REM” が表示されます。
3. ディスクの残り時間 (トータル・リメイン)
表示窓に “T-REM” が表示されます。



ズーム

リモコン

表示文字の拡大

1. ズーム (ZOOM) スイッチを押すと、トラック番号や時間表示などを大きく表示します。
2. 更にもう一度ズーム (ZOOM) スイッチを押すと通常表示に戻ります。

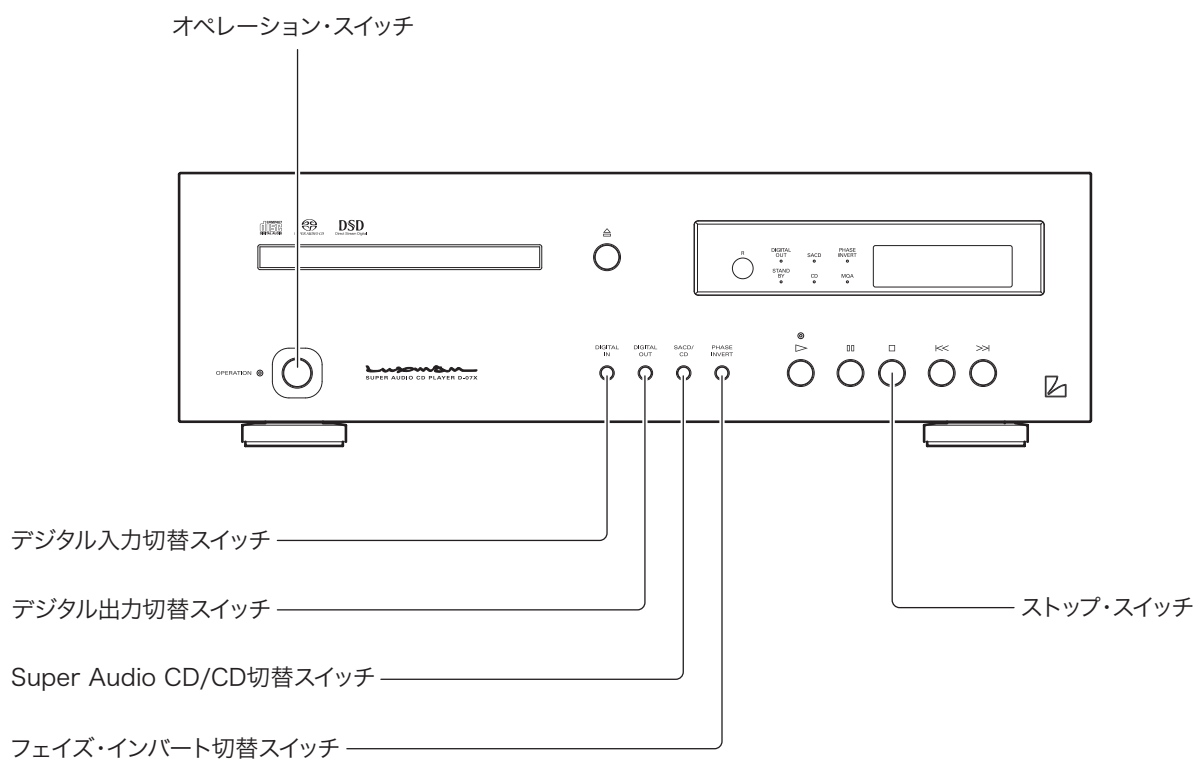
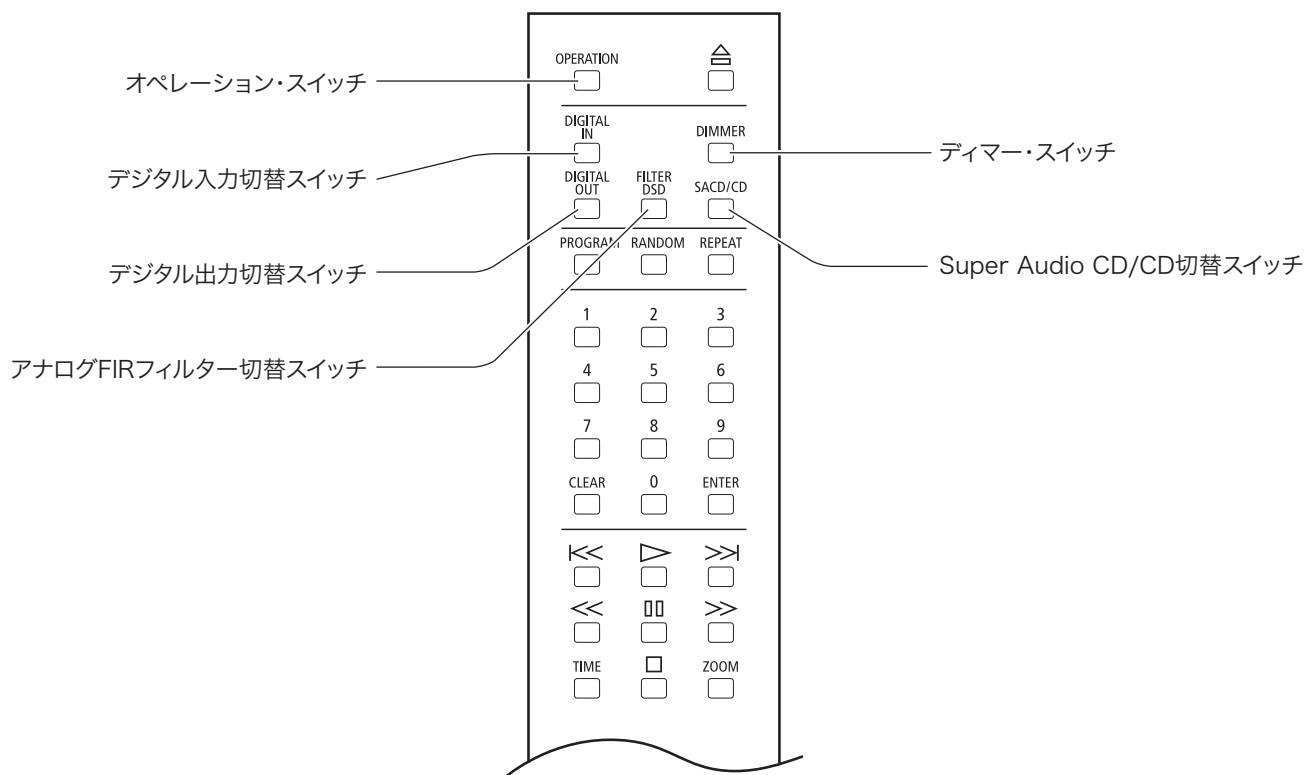
通常表示

TRK
3 1:53

ズーム

3 1:53

詳細設定



ディマー・スイッチ (DIMMER)

リモコン

本体表示窓の明るさを調節します。通常の点灯から消灯まで明るさを 4 段階に切り替えられます。

1 回押すたびに、通常→やや暗い→暗い→消灯→通常……と変化します。
表示を消灯すると、“DISPLAY OFF” の文字が約 2 秒間表示され、その後に消灯します。
“SACD”や“DIGITAL OUT”等の LED によるインジケータの明るさは変化しません。

Super Audio CD/CD 切替スイッチ (SACD/CD)

リモコン ・ 本体

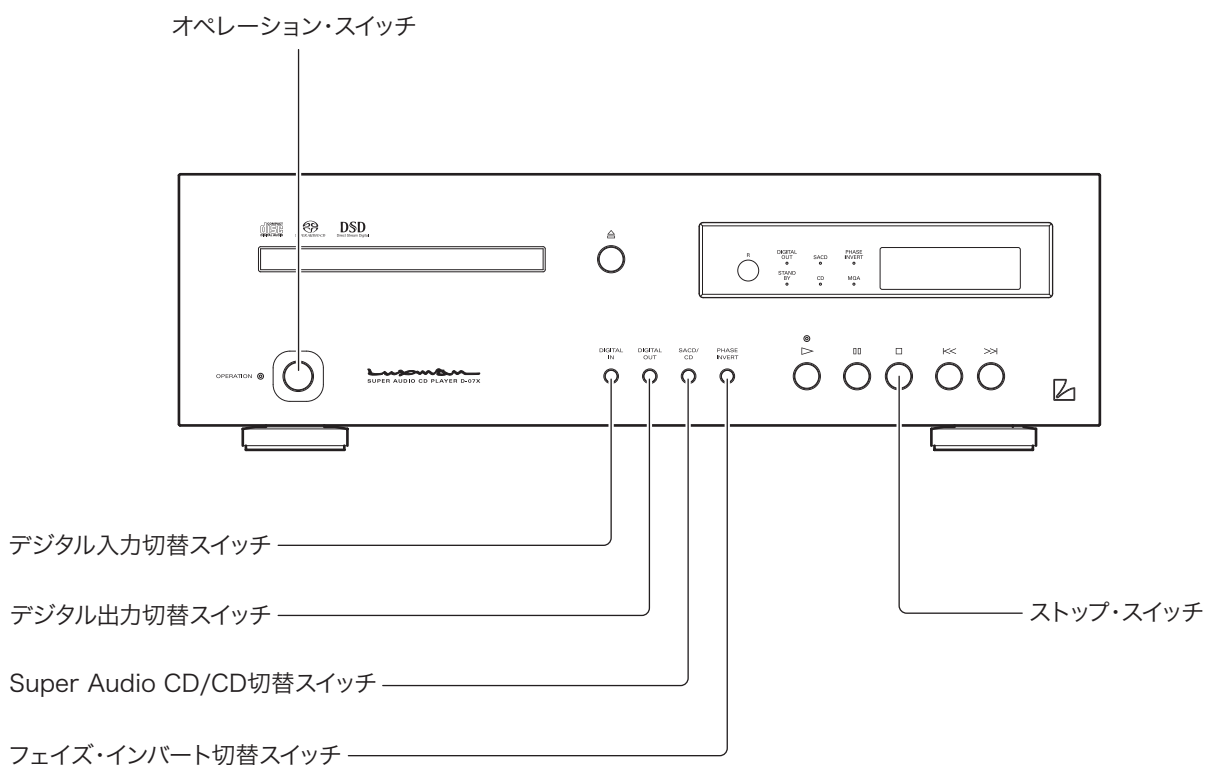
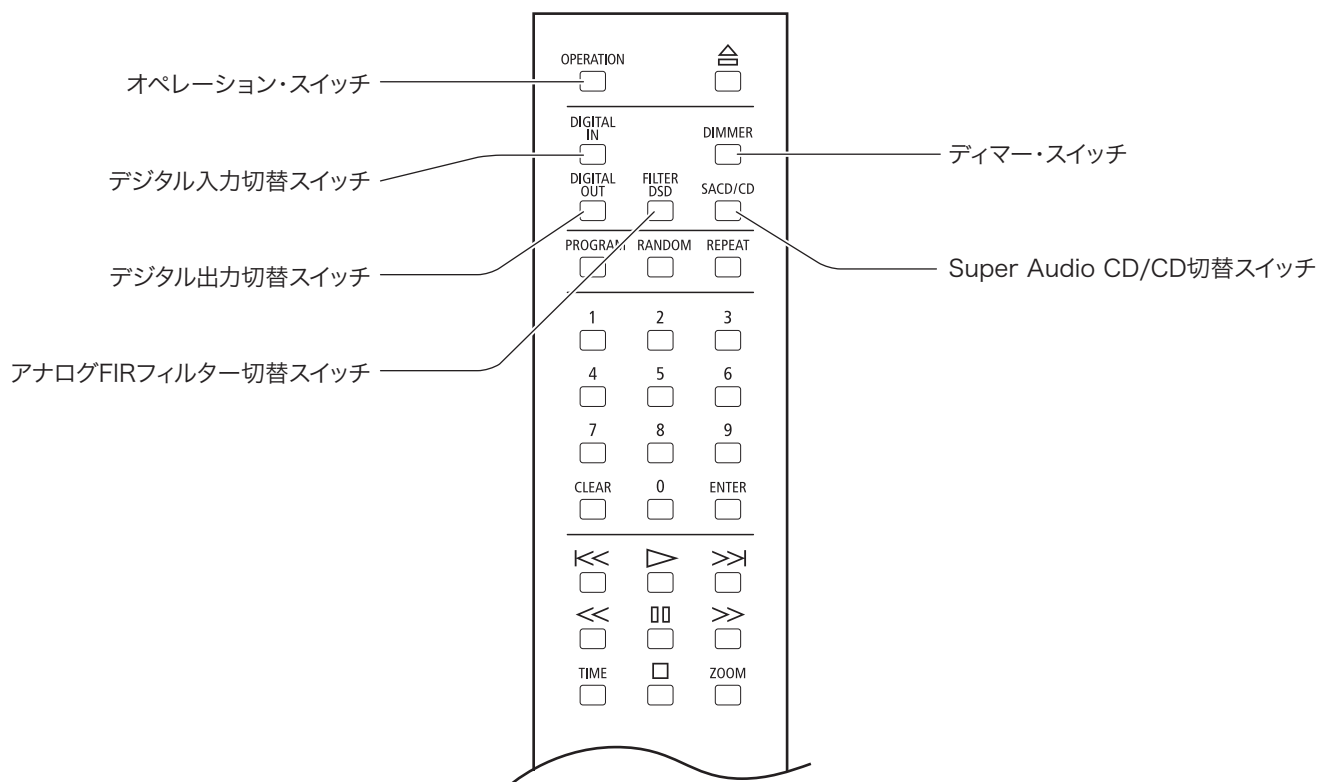
Hybrid Super Audio CD を再生するときに、再生レイヤーを HD 層（通称 SACD 層）と CD 層の間で切り替えます。

停止中に SACD/CD スイッチを押します。

押すたびに、HD 層と CD 層の間で切り替わります。
HD 層を選択したときは、本体表示窓の Super Audio CD (SACD) インジケータが点灯します。
CD 層を選択したときは、本体表示窓の CD インジケータが点灯します。

-
- ・ この設定は、別の Hybrid Super Audio CD をローディングした場合でも、有効になります。
 - ・ シングル・レイヤー・ディスク もしくは デュアル・レイヤー・ディスクをローディングした場合は、自動的に HD 層が選択されます。
 - ・ 本機は、SACD マルチチャンネルエリアには対応していません。
-

詳細設定



デジタル入力切替 (DIGITAL IN) スイッチ



本機を D/A コンバーターとして使用するときには、**リモコン・本体**のボタンを押します。

1. デジタル入力切替 (DIGITAL IN) スイッチを押すたびに、COAXIAL → OPTICAL → USB → INTERNAL (内部プレーヤー) と切り替わります。

コアキシャルとオプティカル入力は以下の PCM 信号に対応しています。

サンプリング周波数 : 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz

量子化ビット数 : 16 bit、20 bit、24 bit

USB 入力は以下の信号に対応しています。

・PCM 信号

サンプリング周波数 : 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz、352.8 kHz、384 kHz、705.6 kHz、768 kHz

量子化ビット数 : 16 bit、24 bit、32 bit

・DSD 信号

サンプリング周波数 : 2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.4 MHz

量子化ビット数 : 1 bit

PC の OS が Windows の場合では、弊社ホームページから専用のドライバー・ソフトウェアのダウンロードとインストールが必要となります。

詳細は、弊社ホームページの「ドライバーインストールマニュアル」をご参照ください。

Mac では、本機は自動的に認識されます。

ご注意：

ドライバー・ソフトウェアのインストール前に、PC と本機を USB ケーブルで接続しないでください。正常に動作しない場合があります。

2. 本体表示窓に選択した入力とサンプリング状態が表示されます。

デジタル入力切替スイッチで選択された入力端子 (COAX / OPT / USB) に接続したデジタル信号のサンプリング周波数とビット数を表示します。デジタル入力切替スイッチで COAXIAL / OPTICAL / USB のいずれかを選択し、それぞれのデジタル機器からのデジタル信号と本機の同期が取れたとき、そのデジタル信号のサンプリング周波数とビット数が表示されます。

デジタル信号が入力されていないか、されていても同期していないときは、“UNLOCK” と表示されます。

USB を選択している場合は、サンプリング周波数のみを表示します。ビット数は表示されません。

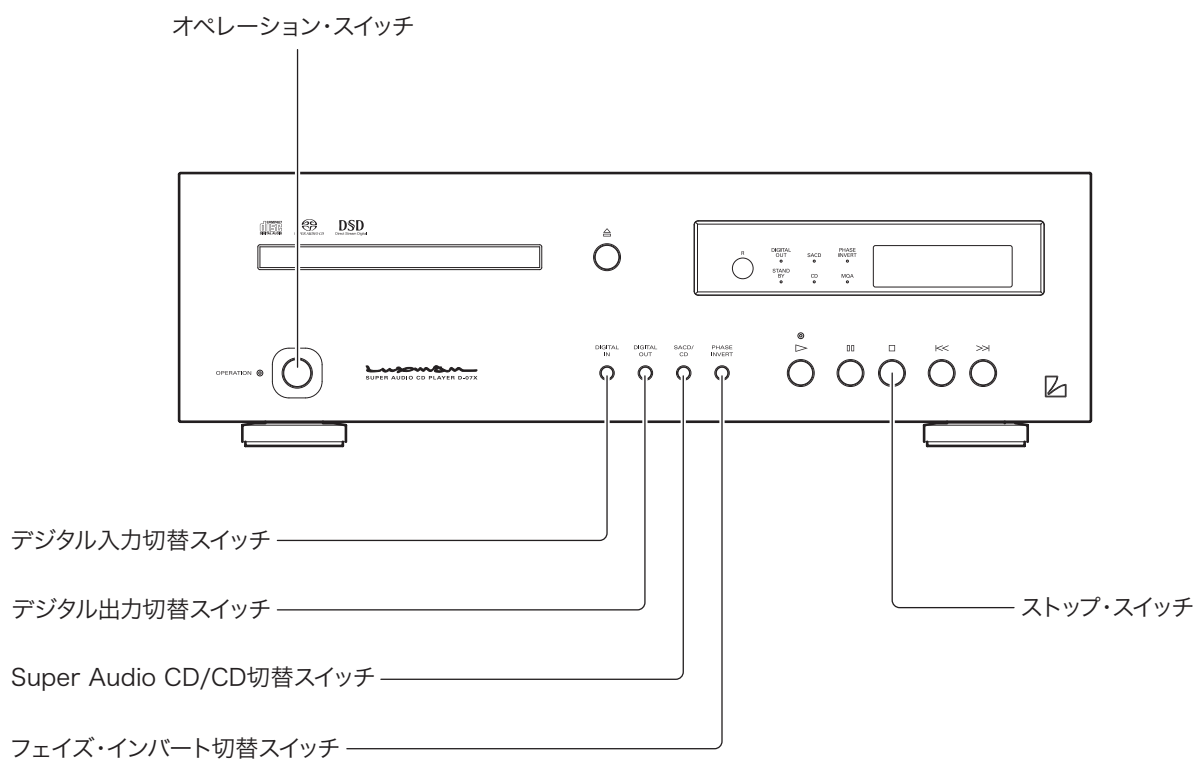
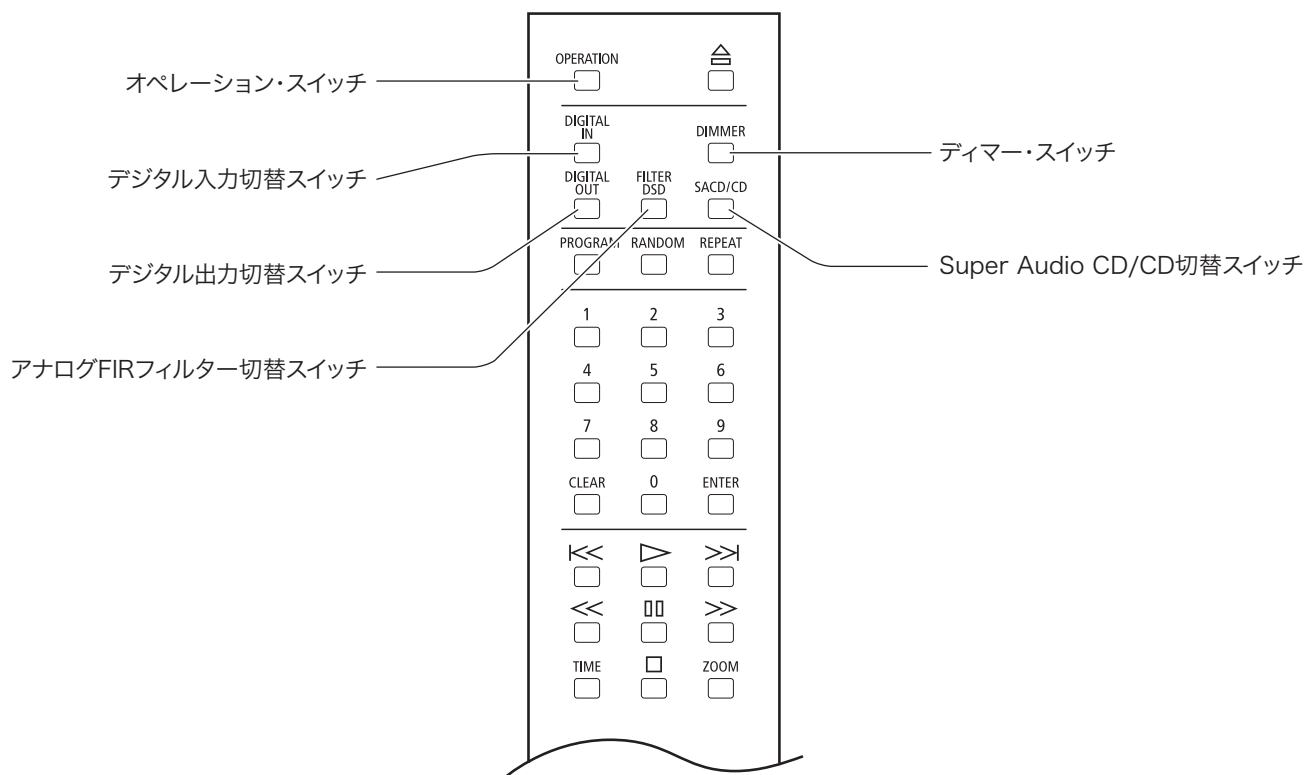
・ビット数 (ワード長) は、IEC60958-3 (デジタルオーディオインターフェース第 3 部コンシューマーアプリケーション) で規定されているチャンネルステータスに含まれるワード長データの内容を表示します。

出力機器によっては実際のワード長と違うチャンネルステータスデータ (ワード長データ) を出すものがあります。その場合は、実際のビット数ではなく、チャンネルステータスデータの内容を表示します。

また機器やソースによっては、“ワード長を指定しない” というデータを出すものがあります。その場合は、ビット数は表示されません。

・デジタル入力を切り替えたときに、一瞬 “LOCK” が表示されてから “UNLOCK” に、もしくは一瞬 “UNLOCK” と表示されてから “LOCK” 変わることがあります。これは入力信号が変化してから回路が安定するまでの間 (約 0.5 秒)、直前の状態 (LOCK/UNLOCK) を表示しているためです。ご了承下さい。

詳細設定



デジタル出力切替 (DIGITAL OUT) スイッチ

リモコン ・ 本体

デジタル音声出力をオン・オフするときに押します。押すたびにオンとオフが切り替わります。

Super Audio CD の HD 層や、DSD ファイルを再生しているときは、デジタル音声出力できません。また DIGITAL OUT インジケーターが消灯します。

Hybrid Super Audio CD の CD 層を再生しているときは、デジタル音声出力をオン・オフできます。

352.8kHz、384kHz、705.6kHz、768kHz のサンプリング周波数の PCM データを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。

すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

1. 本機をスタンバイ状態（待機状態）にします。
 2. 本体のストップ (□) スイッチを押しながら、本体のオペレーション・スイッチを押します。
- すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

項目	設定値
デジタル入力切替	INTERNAL (内部プレーヤー)
デジタル出力切替	オン
Super Audio CD/CD 切替	Super Audio CD (SACD)
フェイズ・インバート切替	ノーマル
ディマー調整	通常
アナログ FIR フィルター DSD	D-1
ズーム	オフ

フェイズ・インバート (PHASE INVERT) 切替スイッチ

本体

リアパネルにあるアナログ出力の位相を反転します。バランス出力とアンバランス出力は共に反転します。この設定は、電源を切ってもフラッシュメモリーに記憶されます。

このスイッチを押すたびに、NORMAL → INVERT → NORMAL → INVERT……と変化します。

[ノーマル・ポジション]

1. GROUND
2. COLD (－)
3. HOT (＋)

[インバート・ポジション]

1. GROUND
2. HOT (＋)
3. COLD (－)

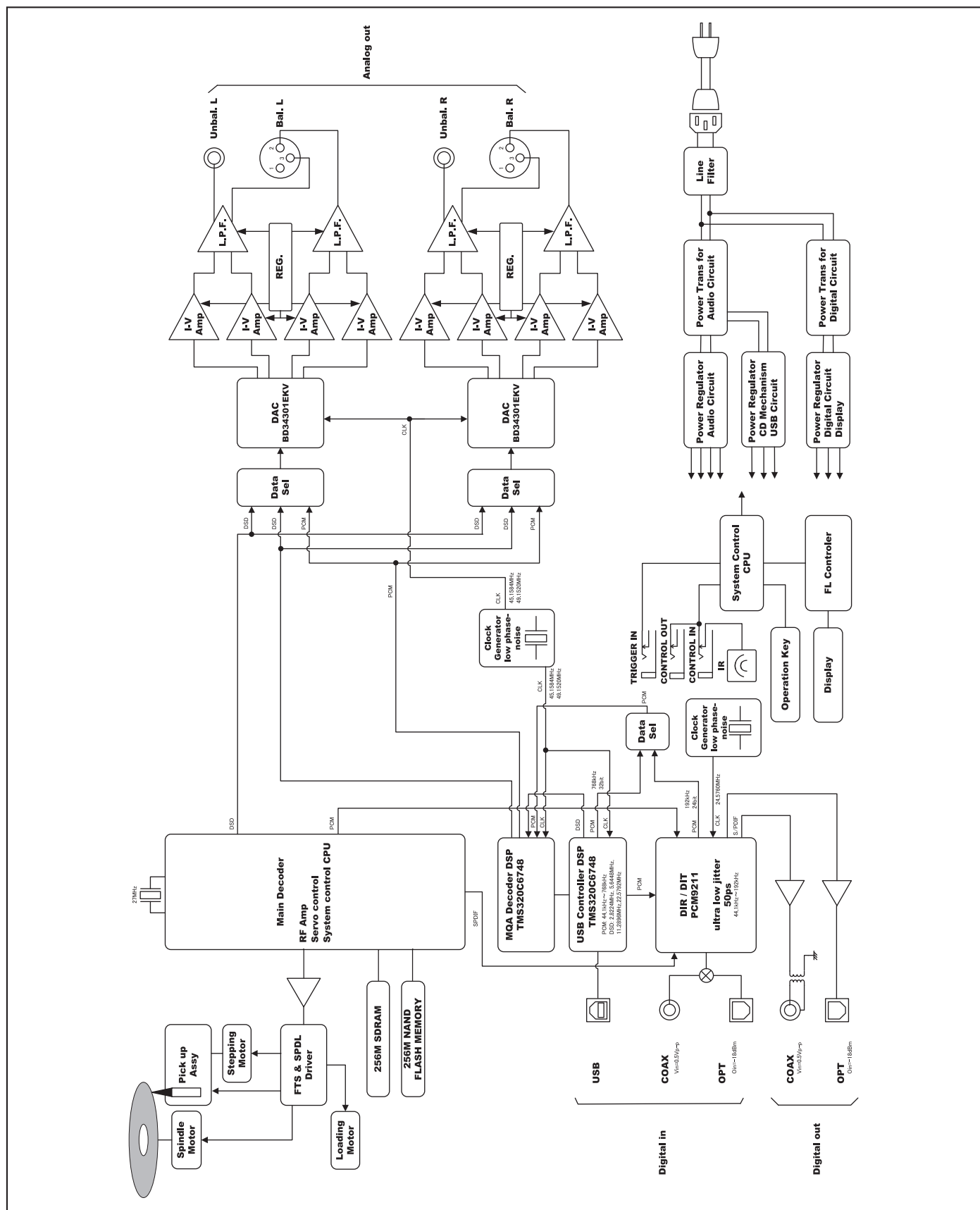
ラストメモリー機能 (各設定の記憶)

フラッシュ・メモリーに記憶される設定項目は下記の通りです。

設定を変更した直後に電源が切れた場合は、設定値が正しく記憶されていない場合があります。

項目	値
デジタル入力切替	INTERNAL (内部プレーヤー), COAXIAL, OPTICAL, USB
デジタル出力切替	オン、オフ
Super Audio CD/CD 切替	Super Audio CD (SACD), CD
フェイズ・インバート切替	ノーマル／インバート
ディマー調整	通常、やや暗い、 暗い、消灯
アナログ FIR フィルター DSD	D-1, D-2
ズーム	オン、オフ

ブロックダイアグラム



形式	2 チャンネル・スーパーオーディオ CD, CD		
電源電圧	AC100 V, 50/60 Hz		
消費電力	33 W (電気用品安全法の規定による) 1 W (待機時)		
質量	17 kg (本体)		
最大外形寸法	440 (W) × 132 (H) × 410 (D) mm (奥行きは前面ノブ 2mm, 背面端子 8mm を含む)		
許容動作温度 / 湿度	+ 5 °C ~ + 35 °C / 5 % ~ 85 % (結露のないこと)		
音声出力特性	出力電圧 / 出力インピーダンス：	UNBALANCE 端子 (RCA 端子) 2.4 Vrms/300 Ω BALANCE 端子 (XLR 端子) 2.4 Vrms/600 Ω SACD/DSD の場合 2.3 Vrms	
	周波数特性：	CD	5 Hz ~ 20 kHz (+0, -1 dB)
		SACD	5 Hz ~ 38 kHz (+0, -3 dB)
		USB	5 Hz ~ 47 kHz (+0, -3 dB)
	全高調波歪率：	CD	0.0016 %
		SACD	0.0007 %
		COAX/OPT	0.001 %
		USB	0.001 %
	S/N 比：	CD	122 dB
		SACD	125 dB
デジタル入力		COAX/OPT	122 dB
		USB	122 dB
	ダイナミックレンジ：	CD	100 dB
		SACD	107 dB
		COAX/OPT	122 dB
		USB	121 dB
	チャンネル・セパレーション：	CD	119 dB
		SACD	122 dB
		COAX/OPT	119 dB
		USB	119 dB
デジタル出力	同軸デジタル入力：	0.2 ~ 2.5 V _{p-p}	
	光デジタル入力：	-14.5 ~ -21 dBm	
	USB 入力：(対応 OS)	Windows 10 以降、Mac OS 10.15 以降	
	サンプリング周波数：	OPT/COAX : 44.1 kHz・48 kHz・88.2 kHz 96 kHz 176.4 kHz・192 kHz (16 bit, 20 bit, 24 bit) USB 入力 : 44.1 kHz・48 kHz・88.2 kHz・96 kHz 176.4 kHz・192 kHz・352.8 kHz・384 kHz 705.6 kHz・768 kHz (16 bit, 24 bit, 32 bit) 2.8 MHz・5.6 MHz・11.2 MHz 22.4 MHz (1 bit)	
	同軸デジタル出力：	RCA 端子 0.5 V _{p-p} /75 Ω	
	光デジタル出力：	光デジタル端子 -15 ~ -21 dBm	

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧ください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスセンターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因 / 対 策	参照ページ
電源が入らない。	・電源ケーブルをACインレットおよびコンセントに正しく接続する。	20
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	・ディスクをディスクテーブルに正しくセットする。	24
	・ディスクをクリーニングする。	2
再生できない。	・ディスクをクリーニングする。	2
	・ディスクをディスクテーブルに正しくセットする。	24
	・本機の内部の結露を除去する。	1
	・ディスクの表裏を正しくセットする。(レーベル面を上側にする)	
音が出ない、音が小さい(デジタル入力の場合)。	・デジタル接続ケーブルを正しく接続する。	19 ~ 20
	・USB 入力を選んでいる場合、PC/Mac などのサウンド設定で音声の出力先に本機 (D-07X) を選ぶ。	PC/Mac など、または使用しているソフトウェアのマニュアル等をご参照ください。
	・上記で本機 (D-07X) が選べない場合は、もう一度 USB ケーブルを接続しなおす。	
	・USB 入力を選んでいる場合、PC/Mac などのサウンド設定で音量を調節する。	
	・USB 入力を選んでいる場合、PC/Mac などで使用している再生プレーヤー・ソフトウェアで音量を調節する。	
	・再生しているデジタル信号が、本機が対応しているサンプリング周波数と量子化ビット数であるか確認する。	18
リモコン操作できない。	・デジタル入力のアンロックが表示されていないか確認する。(デジタル信号と本機の同期が取れていないときは再生されません)	
	・リモコンの使用範囲で操作する。	10
	・リモコンの電池を新しいものと交換する。	9
	・受光部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)が当たっている。受光部に強い光が当たらないように、本機の置き場所や方向を変えてください。	10
テレビなどが誤動作する。	・ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤作動するものがあります。本機と離して使用してください。	10

症 状	原 因 / 対 策	参照ページ
スピーカーから音が出ない、音が歪む。	・音声ケーブルが正しく接続されているか確認する。	19 ~ 22
	・デジタル接続しているときは [デジタル出力] の設定を [オン] にする。	11
	・ディスクをクリーニングする。	2
	・アンプなどの音量が最小になっているときはボリュームを調節する。	
	・接続プラグの差し込みが不十分、または外れていないか確認する。	
	・接続プラグや端子が汚れていたらアルコール等で洗浄する。	
デジタル音声デジタル出力できない。	・ [デジタル出力] の設定を [オン] にする	11
	・ Super Audio CD の HD 層や DSD ファイル、352.8kHz、384kHz、705.6kHz、768kHz サンプリング周波数の PCM ファイルを再生している場合は、デジタル音声は出力できません。	18
SACD、CD で音量差を感じる。	・ディスクの記録方式の違いによるものです。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を一度切り、数十秒経過してから、再び電源を入れるか、出荷設定に戻すことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お求めの専門店または弊社サービス・センターにご相談ください。

アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはご購入店までご連絡ください。状況に応じた修理をさせていただきます。

本機の保証期間はご購入日より起算して標準2年間、または、プレミアム延長保証適用の場合、3年間（ただし、レーザーピックアップなどの消耗品は1年間）です。

標準2年間の保証書およびプレミアム延長保証登録申請書は本機のパッキングケース内に入っています。

プレミアム延長保証適用条件

弊社正規取扱店での購入証明（領収書やレシートの複写）を貼り付けたプレミアム延長保証登録申請書を弊社宛てにご返送ください。
※正規取扱店につきましては、弊社ホームページをご覧くださいか、弊社営業部までお問い合わせください。

- プレミアム延長保証制度では、製品に同梱される保証書による標準2年間の保証に加え、下記に分類する製品の種類により、保証期間を延長いたします。保証期間につきましては、後日お届けいたします「クラブ・ラックスマン」カードに記載されます。「クラブ・ラックスマン」カードはプレミアム延長保証適用の保証書となります。
- 製品別プレミアム延長保証期間
プラス5年（計7年間保証）：トランジスターアンプ、D/Aコンバーター
プラス1年（計3年間保証）：真空管アンプ、CD/SACDプレーヤー、アナログプレーヤー（現保証期間が5年間の製品は7年間、真空管等の消耗品は1年間となります。）
- プレミアム延長保証が適用とならない場合は、標準の2年間保証となり、修理の際は、製品に同梱される保証書と購入証明が必要となりますので、大切に保管してください。プレミアム延長保証が適用とならない場合は以下のとおりです。
 - ・ご購入店が弊社正規取扱店でない場合
 - ・「プレミアム延長保証登録申請書」のご送付が無い場合
 - ・弊社正規取扱店の購入証明が無い場合
 - ・購入証明の日付が弊社出荷日と著しく異なる場合（プレミアム延長保証登録をせず転売された場合等）

保証規約

製品は厳密な品質管理及び検査を経て出荷されておりますが、万一の自然故障の際には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。保証の条件は以下記載のとおりです。

- 万一の自然故障につきましてはご購入日より保証書または「クラブ・ラックスマン」カード表面記載の保証期間無償修理いたします。（ただし真空管等の消耗品は1年間）
- 保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合、また保証期間外の修理の場合は有償にて承ります。
- 保証期間内であっても次の様な場合は保証対象外となり、修理は有償にて承ります。
 - ・保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合
 - ・使用上の誤り、改造、業務目的または海外でのご使用による故障、損傷
 - ・本製品以外（電源等）の原因による故障
 - ・火災、地震、水害、落雷およびその他の天変地変等による故障または損傷
 - ・オーバーホールおよび動作チェック等の点検作業
- 修理料金につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本保証書および保証制度は日本国内のみ有効であり、海外でのご使用時には適用されませんので、ご注意ください。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および「クラブ・ラックスマン」カードの紛失、盗難等による再発行は、原則としていたしませんので、大切に保管してください。また、保証書およびカードの不正な使用、改造の場合、保証効力が失効する場合がありますのでご注意ください。
- 修理品につきましては、ご購入店にご相談いただくか、直接弊社宛てにご送付ください。製品の梱包箱等ではできるだけ保管いただきますようお願いいたします。
- プレミアム延長保証期間中の修理品輸送費につきましてはお客様負担となります。
- 修理品をご送付いただく場合は、輸送中の破損等の事故が無いようにご注意ください。弊社では輸送中の事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

